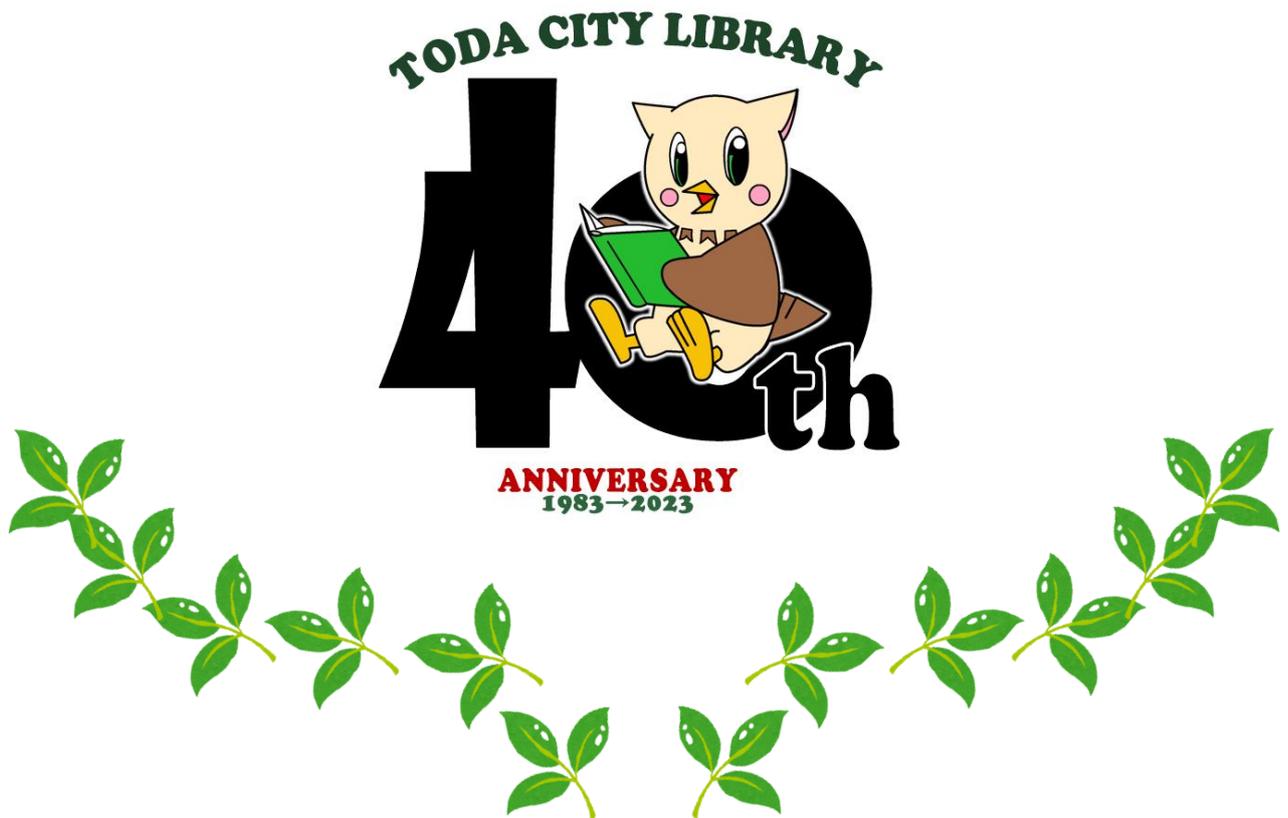


令和5年度

戸田市立図書館
開館40周年記念誌



目 次

○ 「戸田市立図書館開館40周年記念誌」の発刊にあたり…	5
○ HISTORY	
写真で振り返る図書館の歴史	8
図書館40年の歩み(年表).....	27
○ MEMORY	
図書館で働いていた人たちの思い出.....	34
図書館のボランティアさんたちの思い出.....	36
利用者の皆様の思い出.....	40
○ EVENT	
40周年としょかん感謝祭チラシ.....	46
40周年としょかん感謝祭等イベント報告.....	47
○ 図書館設立 40 周年記念イベントを終えて.....	70

「戸田市立図書館開館40周年記念誌」の発刊にあたり

日ごろより本市図書館の運営に御理解、御協力をいただいておりますことに、あらためて御礼申し上げます。

戸田市立図書館は、図書や記録など必要な資料を収集・整理・保存し、市民の文化、教養、調査研究、レクリエーションに資するため、昭和58年に開館しました。この40年の間に、のべ貸出利用者数は622万人、累計貸出数は2,235万点と、多くの方にご利用いただくことができました。

この「記念誌」をご覧いただいてもわかるように、40年の歴史の中には、図書館に関わる多くの方の思い出が詰まっています。過去の写真やエピソードから浮かび上がってくるのは、図書館で過ごす時間を楽しむ利用者の笑顔や、それを陰から支えたボランティアをはじめとするスタッフの熱意です。

令和5年11月に開催した記念イベントは「いつも図書館を利用してくださる市民、図書館の運営を支えてくださるボランティアや地域の方々、そして図書館を作り上げてきた歴代のスタッフなど、図書館に関わる全ての方に向けて感謝を伝えたい」という趣旨から「40周年としょかん感謝祭」と名づけられました。おかげさまで「イベント報告」にあるとおり、多くの来館者の笑顔があふれる3日間となり、次の50周年に向けた新たなスタートを切ることができました。

これからも、市民の皆様の学びを支援し、日常の居場所となるような図書館を目指してまいりますので、御支援、御協力をお願いします。

令和6年3月

戸田市教育委員会 教育長 戸ヶ崎 勤



HISTORY

HISTORY

HISTORY

- ・写真で振り返る図書館の歴史
- ・図書館40年の歩み(年表)

昭和56年(1981年)

図書館・郷土博物館のある場所

昭和55年(1980年)ごろまで、図書館・郷土博物館がある土地は、そのころ増え始めた住宅と県立高校がある以外は、田んぼの広がる地域でした。その当時は水路にたくさんの生き物の姿を見ることができ、のどかさが残る土地だったのです。

ここに生涯学習センター、地域文化センターとして図書館・郷土博物館を建設することになったのは、1981年(昭和56年)のことでした。

今では、周囲にあった田畑も姿を消してしまいましたが、開館してからは、田畑の広がる長閑な景色を目にすることができました。



昭和57年(1982年) 図書館の建設予定地



昭和63年(1988年) 図書館周辺の光景

昭和58年(1983年)以前

福祉センター図書室

中央図書館ができる前は、上戸田、東部、西部、新曽の各福祉センター(公民館)にある図書室が地域の図書館の役割をはたしていました。

上の写真は昭和51年(1976年)頃の上戸田福祉センター図書室の様子です。夏休みになると本を読んだり勉強したりする子供たちで賑わっていました。

そして、図書館本館(現在の中央図書館)誕生後、各福祉センター図書室は図書館の分室となり、今も引き続き地域の人たちに、読書に親しむ場を提供しています。

なお、新曽福祉センター内の新曽分室は平成10年4月に廃止となりました。また、上戸田福祉センター内の上戸田分室は、平成27年9月、上戸田地域交流センター内にある上戸田分館へと生まれ変わりました。



昭和51年(1976年) 上戸田福祉センター図書室



昭和62年(1987年) 現在は廃止となった新曽分室

昭和58年(1983年)

11月1日図書館オープン

戸田市立図書館は、昭和58年(1983年)11月1日に25万冊の蔵書を持つ図書館としてオープンしました。

地下1階・地上4階の床面積約4,000平方メートルで建設され、開館した当時は埼玉県でも有数の広さでした。

オープン当日は、落成式の式典後、午後2時から建物が一般利用者に開放され、貸出券を作る人たちの列で、一時、カウンターは大混雑となりました。

この日は、午後6時までの4時間の開館でしたが、616人の利用者が1,783冊の本を借りて行きました。



オープン式典の様子



オープンの日のカウンター

正面玄関のミミズク像

正面入り口にミミズクの石像があるのをご存知でしょうか。

図書館のオープン時より、来館する皆さんを3階正面玄関左上から見守っていたのですが、2020年4月にリニューアルオープンした際に今の場所へと移動しました。

では、なぜミミズクになったのでしょうか?それは、ギリシャ神話で学問や知識、技術を司る神様ミネルバの使いがフクロウであり、ミミズクがフクロウの仲間だからです。

市民の学ぶ意欲に応える場所、図書館・郷土博物館のシンボルには、ミミズクがピッタリと言うことで選ばれました。

このミミズク像は、彫刻家の空 充秋(そら みつあき)先生に作っていただきました。素材は花崗岩で、ミミズクの羽の色に似ている「さび御影石」という石を使っています。



昭和58年(1983年)みみずく像



昭和58年(1983年)3階に設置中のみみずく像

昭和59年(1984年)

おはなし玉手箱スタート

図書館では子供たちに読書の楽しみや喜びを知ってもらうために、様々な行事を行っています。その中で最初にスタートしたのが「おはなし玉手箱」です。毎週、子供たちに絵本や紙芝居を読み聞かせていました。当時は、写真のように旧絵本コーナーで開催していました。みんな真剣なまなざしで聞いてくれています。

下の写真は、平成28年(2016年)に開催されたクリスマススペシャルの様子です。こちらも大勢の子供たちが参加してくれました。

長い歴史の中で語り手やおはなし会の形態は変化しましたが、「子供たちに読書の楽しみを知ってもらいたい」という願いは変わっていません。これからも、ずっと、続けて行きたいイベントの一つです。



昭和 59 年 (1984 年) おはなし玉手箱



平成 28 年 (2016 年) クリスマススペシャル

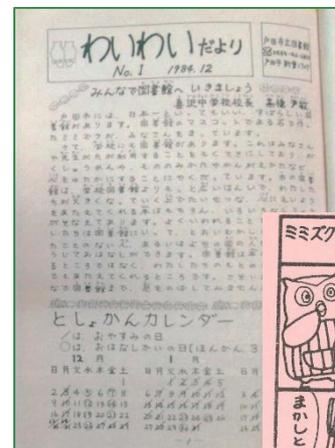
「わいわいだより」創刊

戸田市立図書館では、開館の翌年から様々な発行物の創刊ラッシュが続きました。その中で、昭和59年12月に発行したのが子供向け館報「わいわいだより」です。子供たちに広く図書館に親しんでもらおうと、毎号、様々な切り口で子供向けの本を紹介してきました。

当時は、読んだ本の感想やイラストを投稿してもらい、次号の誌面で紹介していたため、たちまち子供たちに人気の館報となりました。

そして、毎号、掲載していた四コマ漫画からは、図書館のマスコットキャラクター「みみずくのみみちゃん」も誕生しました。

写真は、上が「わいわいだより」創刊号で、下が初掲載時の四コマ漫画と現在のみみちゃんです。



昭和 59 年 (1984 年)
「わいわいだより」
創刊号



昭和61年(1986年)

「みみずく文庫」開設

昭和61年1月、美女木小学校を皮切りに市内の小学校に、学校の転用可能教室を活用した「みみずく文庫」が開設されました。

棚には1,100冊の本を配置し、1学期ごとに入れ替えました。週に1回の開室ではPTAの皆様にご協力いただき、貸出や返却、リクエストの受付や貸出券の申し込み手続きをしました。

開設当時は、図書館の貸出券で本を借り、読みたい本がない場合はリクエストをすることもできました。用意できた本は、図書館から文庫に届けられ、配本所のような役割も果たしていたのです。

平成16年頃まで多いときは計8校で開設していましたが、小学校の転用可能教室がないことから終了しました。



昭和61年(1986年)9月3日に開設した笹目小学校



同年11月19日に開設した戸田第二小学校

昭和63年(1988年)

「一日こども図書館員」

この年の8月、図書館5周年記念イベントとして、市内在住の小学生(4~6年生)を対象に「一日こども図書館員」を開催しました。

当日の朝、図書館長から任命書を受け取った12名の子供たちは、緊張の面持ちで仕事に臨みました。

その後、カウンターでの仕事をはじめ、分室に本を運んだり、駅にある返却ポストの中から本を回収する巡回便の仕事や、図書館の本にフィルムカバーを貼り付ける仕事などを体験しました。

そして、夕方、無事に仕事をやり終えた子供たちは、お迎えに来た保護者に体験した出来事を嬉しそうに伝えていました。夏休みの良い思い出となったようです。



一日こども図書館員



一日こども図書館員

平成元年(1989年)

第1回絵本カルタ大会

この年の1月、図書館で使えなくなった絵本の表紙を絵札にした「絵本カルタ大会」を開催しました。

小学3年生以下の子供を対象に1月のおはなし会で予選を、月末には決勝戦を行いました。

子供たちにとっては、おなじみの絵本も多く、我先に絵札をさがして手を伸ばし、白熱したイベントとなりました。

平成3年(1991年)2月2日の埼玉新聞の記事には、「5回の予選も含め述べ150人余りが参加する大人気の大会」と紹介されていて、当時、どれだけ盛況だったかを知ることができます。



平成元年(1989年)頃の絵本カルタ大会



平成28年(2016年)1月
この頃は年1回の開催となる。

平成3年(1991年)

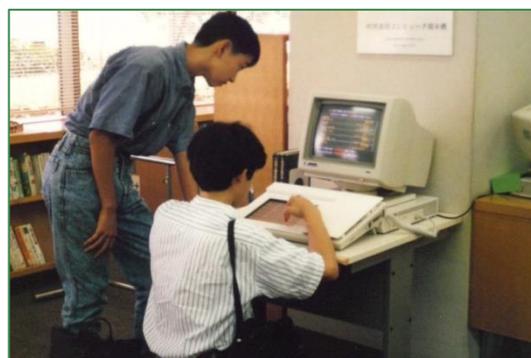
利用者用端末機導入

現在は、中央図書館のほか市内すべての分館、分室、配本所に設置されているタッチパネル式の利用者用端末機ですが、図書館に初めて導入されたのは、平成3年8月でした。

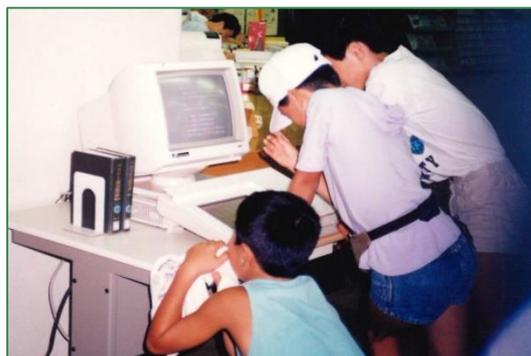
それまで、図書館の本を探すには、利用者が棚に直接行って探すか、カウンターにいる職員に尋ねるか、または冊子目録から探すかしかなかったため、不便を感じる人も少なくありませんでした。

当時、図書館本館の1階カウンター脇に1台だけ導入されましたが、利用者からは本を自分で探せるようになり、とても便利になったと喜ばれました。

因みに、この端末機では、蔵書している資料が、今、どこにあるかがわかるだけで、現在のよう予約をすることはできませんでした。予約システムの導入は、更に9年後となります。



利用者端末機第1号設置



利用者端末機第1号設置

平成6年(1994年)

リサイクル図書コーナー設置

図書館本館が開館して10年が過ぎたころ、蔵書数の増加に伴い地下にある書庫に余裕がなくなりました。そこで、古くなった図書の一部を除籍しましたが、まだ使用できる図書も多く、この年の12月、本館に「リサイクル図書コーナー」を設置しました。

設置初日、1階開架閲覧室入口の棚の前には多くの利用者が足を止め、初日だけで450冊の図書をリサイクルできました。

また、下の写真は、翌年8月に開催された雑誌リサイクルフェアの様子です。所蔵している雑誌も収納の限界を超えたため、保存年限の見直しを実施し、約200タイトル、3000冊を利用者に提供しました。フェアの来場者は約650人と大盛況のイベントになりました。



リサイクル図書コーナー設置



平成7年(1995年)雑誌リサイクルフェア

平成7年(1995年)

平和図書コーナー設置

この年の8月、図書館では戦後50年の節目にあたり、平和への理解を深めてもらおうと本館に「平和図書コーナー」を設置しました。

既にある蔵書の中から世代を超えて読み継がれている本を選び出し、新規購入した図書とともに約1,000冊の図書をコーナーに配架しました。

設置した当初は、夏休みの最中ということもあり、読書感想文の本を選ぶ子供たちの姿が目立ちました。また、戦後50年、日本中が平和を考えた年でもあったため、関心を寄せて棚の前で足を止める人も多かったようです。

そして、現在も、新たな図書を買足したり、使い古された図書を買替えたりしながら、皆様が平和を考える一助となるようコーナーを維持しています。



設置当初の平和図書コーナー

平成10年(1998年)

まちづくり出前講座登録

5月、戸田市の出前講座がスタートしました。出前講座は、市民の皆様の生涯学習やまちづくり活動支援のために、市職員等が講師となって話をしたり、体験学習を行ったりするものです。

既に図書館では、平成7年(1995年)10月から学校に出向いてブックトークやお話を開催していましたが、新たに図書館の利用方法をガイドするメニューを加えて登録をしました。また、後に調べ学習に役立つメニューも加え、現在も多くの方にご利用いただいています。

下は平成30年(2018年)7月に実施した新曽小学校3年生の授業の様子です。この頃には国語科の単元にあわせた内容をメニューに取り入れ、学校からの依頼も増えていました。



平成21年(2009年)南っ子クラブ 図書館の活用方法



平成30年(2018年)新曽小学校3年生 百科事典の使い方

『ラブライブラリー』創刊

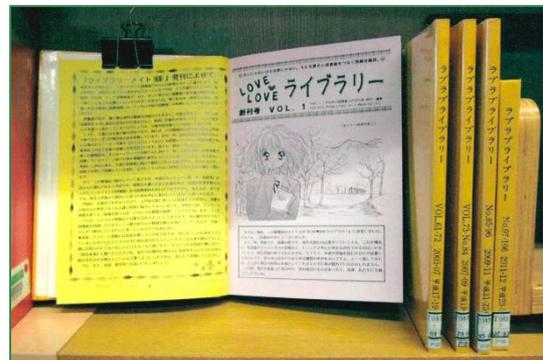
同年11月、当時の上戸田分室でティーンズ向けの情報誌が創刊されました。

まだSNSがそれほど普及していない時代、情報誌の発行目的は、投稿ページを設けて図書館と読者、読者と読者をつなぐ情報交換の場を作ることでした。

読者はティーンズ層に限らず、卒業して〇〇年という方にも広く門戸を開き、親子で楽しんでいる方もいました。

私たちが刊行がきっかけとなり利用者と読書の話をする機会が増え、その声は選書をはじめとした業務に反映することができました。

なお、創刊から12年経過した2012年(平成24年)10月、SNSを活用して誰もが自由に読書記録を発信できる時代となったことで、その役目を終えたラブライブラリーは106号をもって発行終了となりました。



平成10年(1998年)ラブライブラリー創刊号
この合本は、中央図書館2階の郷土資料コーナーにあります。

平成11年(1999年)

中学生社会体験チャレンジ事業

市内の中学生が施設や事業所で職業体験をする授業について、図書館での受入を開始しました。

参加した中学生には、「やってみたかった」と言うカウンターでの仕事、普段は目に触れない場所での仕事、おはなし会の手伝い等、様々な業務を体験してもらいました。

3日間の業務を終え、生徒たちは、外からでは分からないこと、例えば、想像以上に多くの人と関わりをもつ仕事であること、座ってできる仕事だけでなく体力を必要とする仕事や根気が必要な仕事もあることを知り、仕事に対する姿勢や理解を深める貴重な体験となったようです。

写真は、平成21年(2009年)3daysに参加した戸田東中学校の生徒さんたち。返却カウンターで、本の返却処理をしているところです。



平成21年(2009年)
3daysに参加した戸田東中学校の生徒たち

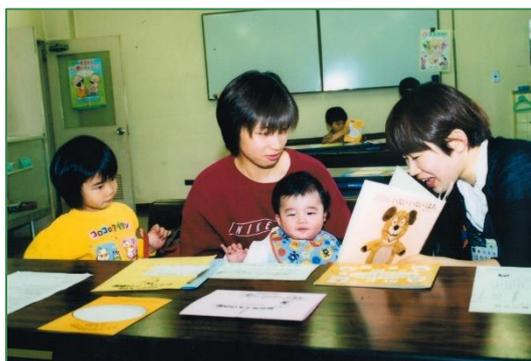
平成14年(2002年)

ブックスタート開始

この年の4月、戸田市では、「ブックスタート」を開始しました。ブックスタートは、「赤ちゃん」と絵本を通して楽しい時間を分かち合うこと」を応援する運動です。

当時は、美女木にある医療保健センターへ出向き、4か月児健診の会場で健診を終えた親子に絵本をプレゼントしました。

まだ、ブックスタートの認知度も低く、「0歳児に絵本ですか?」と言われることも多かったのですが、親子一組ずつに丁寧に趣旨を伝え、絵本の読み聞かせをすることで、理解を深めてもらいました。



開始当初のブックスタート

平成15年(2003年)

コールドコット賞受賞 絵本展示会開催

この年の8月、20周年を迎えた図書館では、郷土博物館との共催で「すてきな絵本の世界 -コールドコット賞受賞作品を中心に-」という特別展を開催しました。

コールドコット賞は全米図書協会が米国で1年間に出版された絵本の中で最も優れた作品に贈る賞で、1937年に創設されました。

特別展では、絵本の収集家である青山章子氏にご協力をいただき、66年間に受賞されたすべての作品の原書や翻訳本を展示することができました。



青山章子氏の講演



受賞作品の読み聞かせ

平成17年(2005年)

本館2階レイアウト変更

この年の6月、本館(現在の中央図書館)2階で大きなレイアウト変更がありました。

平成12年(2000年)に文部科学省から発表された「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により、公共図書館は従来のサービスに加えて、「地域の課題解決に貢献する図書館」及び「地域住民の生活と仕事を支援する図書館」を目指すことを求められ、そのための対応が必要となったからです。

主な変更点は、ビジネス書を集めた棚とコーナーを設置したこと。1階の新聞を2階に移動し、過去の新聞と共に閲覧できるようにしたこと。また、地域資料の収集を強化し、内部で保管していた資料も開架の棚へ移したこと。

更に、それらの資料を活用して利用者の求める課題解決のサポートができるようカウンター周辺の環境を整え、職員の研修も強化しました。



平成17年(2005年)頃のビジネス書コーナー



平成17年(2005年)頃の新聞閲覧コーナー

平成18年(2006年)

ロータリー文庫を設置

この年の3月、本館1階に戸田ロータリー文庫(外国語資料コーナー)を開設しました。

このコーナーは、国際化に対応する図書館を目指して、日本人が多文化への理解を深めるために、また地域社会の外国人に対して多文化サービスを展開するために設置されました。

また、コーナー新設にあたり、戸田ロータリークラブ様より318冊の本が寄贈されたため、コーナーの名称を「ロータリー文庫」としました。

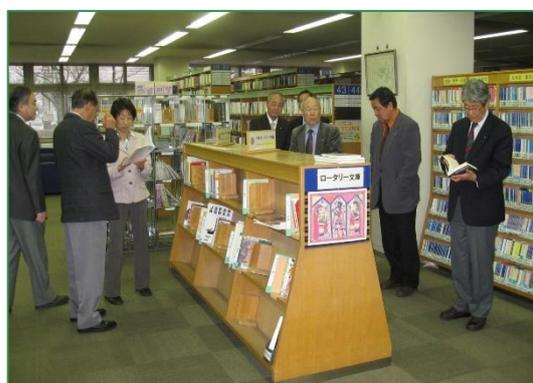
左下の写真は、翌年の3月に新しい棚を設置したときのものです。戸田ロータリークラブの皆様にも見ていただきました

その後も同団体からは定期的に図書の寄贈を受け、現在、当館で購入した本とあわせて1,500冊近くの蔵書となっています。

※内770冊は地下の書庫にあります。



設置当初のロータリー文庫



平成18年(2007年)新規に棚を設置

「レファレンスだより」創刊

この年の4月、図書館員の持つ「調べる」技術を発信するための情報誌「レファレンスだより」を創刊しました。

「レファレンスだより」は、「美女木八幡宮について知りたい」「梅の木稲荷ってどこにあるの?」「戸田の昔の地図が見たい」等、日頃、カウンターで良く聞かれる質問について、課題ごとに調査できる資料を案内し、皆様の疑問の解決に役立てて貰おうという目的から発行されました。

また、Webからは戸田市に関するテーマを中心に「調べ方案内」の発信もスタートさせ、更に、過去に受けた調査については「事例検索」での検索閲覧が可能になりました。



約5年後、45号まで発行した「レファレンスだより」

平成18年(2006年)

レファレンス講座の開始

7月、小学生を対象に、「本を活用して調べ物をする方法」を学ぶ講座を開始しました。講師はレファレンスセンターで調べ物の腕を磨いた当館の司書たちです。

第1回は3人の参加者しかいませんでしたが、その後は、時代のニーズもあり、回を重ねる毎に参加者が増え、一時期は抽選が必要なほどにまでなりました。

下の写真はスタートから10年後の平成28年度の講座の様子です。この頃には、対象を小学4年生に絞り、約半年かけてノウハウを学んでいく連続講座に形態を変えていました。また、最後に保護者を招いての発表会やロビーでの展示会も行っていたため、講座に臨む子供たちのモチベーションも高く、活気ある雰囲気の中で行われました。

なお、時代と共に成長してきたこの講座ですが、図書館運営が指定管理者に移行したことにより、現在は講座の形式や内容を変更して開催しています。



第1回子どもレファレンス講座



平成28年(2016年)しらべもの名人になろう!

図書館市民講座を開始

この年の7月、市内在住で活躍している方を招いて、自身の仕事や得意分野をテーマに語っていただく新しい講座をスタートさせました。

初回は、スポーツライターの荒川裕治氏に「ワールドカップと日本サッカー」について語っていただきました。

写真は平成20年3月開催の「遠く離れた娘から母への子育て絵手紙」(講師:福場文氏)の様子です。

なお、市民講座は平成23年1月開催を最後に終了しました。



平成20年(2008年)福場文氏による講演

平成18年(2006年)

自動貸出機・ チェックゲートを設置

この年の10月、本館にICタグ対応の自動貸出機とチェックゲートが設置されました。

これにより、休日など貸出カウンターが混雑する時間帯には、早く手続きができる利用者からは喜びの声をいただきました。また、子供でも簡単に操作ができるため、導入当初は子供連れの来館者に大変好評でした。

一方、年配の方には、当時まだタッチパネルに馴染みがなく敬遠されていたようです。しかし、現在は街中にタッチパネルが溢れるようになり、図書館の自動貸出機もようやく多くの方に利用していただけるようになりました。



設置したばかりの自動貸出機

平成19年(2007年)

本館1階に相談カウンター設置

この年の7月、本館1階のカウンターに「相談カウンター」が設置されました。

カウンター内で保管していた視聴覚資料にICタグを貼り付け、開架の棚に移動したため、空いたスペースを活用して、来館者が気軽に声を掛けられる窓口を新設しました。

前年に自動貸出機を設置し、貸出業務が減った分、本探しのサポートや利用方法の案内等、図書館での「わからない」に応えるサービスに力を注ぐことが可能になったことも設置の要因になりました。



設置工事中の相談カウンター

平成20年(2008年)

ボート関連図書コーナー新設

この年の3月、本館2階にボート関連図書コーナーを設置しました。

戸田市は昭和39年(1964年)の東京オリンピックでボート競技の会場となったことから、関係資料については数冊ほど所蔵していたのですが、郷土資料の棚に散在した状態でした。

そこで、郷土資料コーナーの周知も兼ねて、ボート資料の積極的な収集を開始し、収集資料が100冊となったところでコーナーを立ち上げました。

その後も日本ボート協会や戸田ボート協会、戸田に艇庫のある大学の協力を得て、現在の棚(約470冊)を構築することができました。

この取り組みは、朝日新聞(2008年11月7日朝刊)でも取り上げられ、遠方から資料の寄贈者が来館し、更に新しい資料を提供してくれるなど嬉しい交流も生まれました。

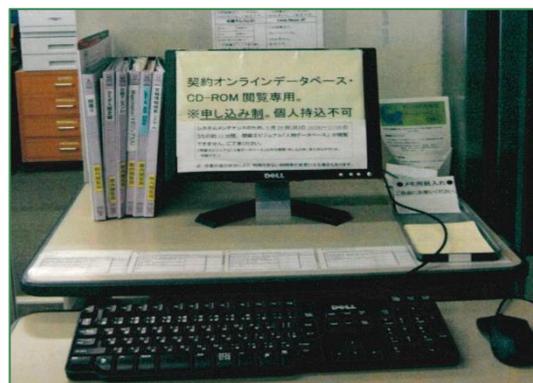


設置当初のボート関連図書コーナー
※現在、別の棚に移動しています。

オンラインデータベース用端末を設置

この年の4月、本館2階カウンター前に、オンラインデータベースを閲覧するための端末が設置されました。

これにより過去の新聞記事を検索、閲覧することが可能になりました。また、当時は法律を検索するデータベースも導入したため、「地域の課題解決に貢献する図書館」及び「地域住民の生活と仕事を支援する図書館」として一歩前進し、資料の充実を図ることができました。



設置当初のオンラインデータベース閲覧用端末

※法律を検索するデータベースについては利用が少なかったため、現在は導入していません。

平成21年(2009年)

「探検ツアー」開催

この年の8月、郷土博物館の25周年記念行事として、「探検ツアー」を合同開催しました。

普段は利用者の立ち入れないバックヤードを子供たちと一緒に探検するイベントでした。

図書館では事務室で返却ポストの裏側を見た後、館長の発案で「館長席に座る」体験もしました。「社長の椅子みたいだ」と、みんな嬉しそうでした。

地下書庫では、天井まである大型の棚に本がぎっしりと詰まっている様を見て、「わあ」という驚きの声上がり、書庫で実施した本探しゲームや、新聞の縮刷版で自分の誕生日の記事を探して読む体験もみんな楽しそうに参加してくれました。

探検ツアーは、翌年から定例行事となり、図書館を身近に感じられたと好評を得ています。



探検ツアーで館長席に座る子供たち



本探しゲームの説明を聞き子供たち

平成23年(2011年)

東日本大震災で臨時休館

この年の3月、東日本大震災発生のため、3月11日から2日間、建物等、館内の安全確認のために臨時休館をしました。

当館では、利用者があるフロアで棚が倒れたり、ケガをしたり等の大きな被害はなく、一部の棚の本が落下したり、壁にわずかな亀裂が生じたりした程度の被害で済みました。

しかし、東北地方や関東の沿岸部では、多くの図書館が被害に遭われたと聞き、この震災は、図書館で所蔵する貴重な郷土資料をどう守っていくかを考えるきっかけとなりました。

また、震災後も「計画停電」により閉館時間を早めたり、平日の自習席の使用範囲を縮小して一部の電気を消灯する等、震災の影響はしばらくの間続くこととなりました。



東日本大震災のため臨時休館



震災直後の上戸田分室内

平成25年(2013年)

30周年記念行事を開催

この年の11月、図書館は30周年を迎え、ささやかな記念行事を実施しました。

ロビーでは「写真で振り返る図書館の歴史」とマスコットキャラクターである「みみずくのみみちゃん」を紹介するパネル展を行いました。

また、11月3日には定例行事のおはなし会、映画会、探検ツアーをまとめて開催し、図鑑や百科事典を使ってクイズに挑戦する新規のイベントも加えて、記念の日を祝福しました。



ロビーパネル展示



11月3日のイベントの案内

クリスマスイベントを開催

この年の12月、市議会文教・建設常任委員会との共催で図書館クリスマスイベントを開催しました。

日没後の図書館ロビーにハンドベルやトランペット、トロンボーンの花音が鳴り響き、クリスマスにふさわしい素敵な演奏会となりました。

また、この日は、コーヒーの販売もあり、自習席で勉強中だった利用者も、手を止めてコーヒーと演奏会で束の間のクリスマスを楽しんでいたようです。

なお、このイベントは、以降、本館が設備改修工事に伴う長期休館となるまで、毎年、開催されていました。



ハンドベルの演奏をする子供たち



管楽器の演奏会

平成26年(2014年)

「作文・絵画コンクール」表彰式を開催

この年の5月、前年に募集した図書館30周年記念「作文・絵画コンクール」の受賞作品表彰式を開催しました。

市内の在住者を対象に、図書館との思い出を作文や絵画の形で応募してもらったところ、142点(作文132点、絵画10点)の作品が集まりました。

図書館との出会いや関わり方は千差万別ですが、それぞれに素敵なエピソードがあることがわかり、皆さんの作品を通じて、改めて図書館で仕事をすることの意義を感じました。

受賞した17名の方には表彰状と記念品が授与され、作品はロビー展示及び記念誌に掲載されました。

※「戸田市立図書館開館30周年記念誌」は中央図書館及び分館、分室で所蔵しています。興味のある方は、ぜひ、ご覧ください。



受賞作品表彰式



受賞作品の展示会

ビブリオバトル開催

この年の12月26日(土)、図書館クリスマスの開催に伴い、市議会文教・建設常任委員会と共催でビブリオバトルを開催しました。

バトラ(発表者)は、当館の司書4名と議員1名で、各人が1冊ずつ本を紹介し、当日の参加者39名(バトラ含む。)に投票してもらいチャンプ本を決定しました。投票の結果、得票数同数で2冊の本がチャンプ本に選ばれました。



ビブリオバトルで本を紹介する司書

平成27年(2015年)

上戸田分館開館 (指定管理者による運営開始)

この年の9月、新設された上戸田地域交流センター内に上戸田分館がオープンしました。

新しい分館には、市内東エリアにおける読書活動の拠点として地域住民の課題解決に貢献できるように新たに郷土資料や調べるための本を蔵書に加えました。

また、親子で安心して絵本を読める独立した空間では、お話会の開催もできるようになりました。他にもグループ学習室の設置など新たな機能を取り入れてのオープンとなりました。

なお、前身である上戸田分室は、昭和44年(1969年)3月から46年の歳月を経てこの年の8月に閉室しました。



上戸田地域交流センターオープン



上戸田分館開館前の様子

平成29年(2017年)

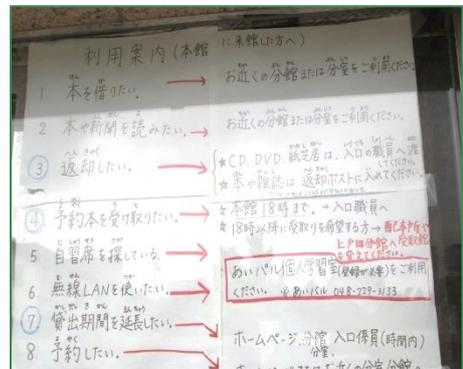
電気設備故障のため臨時休館

この年、8月15日夕方、本館の電気設備が故障し、復旧(8月31日)までの期間、本館は臨時休館となりました。

停電直後の館内は、1時間後には非常電源も切れ、日没近くなると館内は暗く、水も出ない状態となり、排煙連動制御盤から警告音が鳴ったままになるなど異様な雰囲気になりました。

また、電源の供給がないためパソコンやプリンターが使えず、臨時休館を告げる掲示物はすべて手書きで作成しました。

翌日、発電機を借りることができてからは、電話数台とパソコン数台を動かすことができましたが、書架にあるサバイバル生活のハウツウ本を片手に、衛生管理や体を冷やす工夫などをしつつ15日間を乗り切りました。文明の利器の便利さを再確認した日々でした。



手書きの貼り紙

平成30年(2018年)

設備改修工事に伴う休館

この年の7月から令和2年(2020年)3月まで図書館及び郷土博物館では、施設長寿命化のため大規模な施設設備改修工事を行いました。

工事内容は、主に各種電気設備、空調設備の改修や各階の天井裏や壁内部の各種配管の交換で、工事中は建物の内部へ入ることができませんでした。

そのため工事の前には、利用が見込まれる資料はすべて上戸田分館の書庫へ移動しました。また、本館に残す資料と棚は、カビ発生防止のためアルコール消毒し、郷土資料の棚は調湿シートで覆う等、資料を守るための処置も行いました。

なお、工事中は新曽福祉センター1階に「新曽配本所」を開設しました。



改修工事中、天井を外した本館の内部



調湿シートで覆った棚と、消毒済の本が入った箱

令和2年(2020年)

新型コロナウイルス感染拡大

この年の3月、分館、分室及び配本所では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、資料の閲覧、座席の利用、利用者端末機の利用を中止しました。※3月4日から4月10日まで

また、名称を「中央図書館」に変更し、4月1日よりオープン予定だった中央図書館も、大々的なオープンイベントを実施することなく、ひっそりと再開しましたが、僅か11日後の4月11日からは、緊急事態宣言発出に伴い全館臨時休館となりました(5月19日まで)。

その後、5月20日からは、段階的に制限を緩和し、一進一退を繰り返しながらの開館が続きました。



利用制限について掲示をする美笹分室



制限下では、棚から本を選ぶことができませんでした。

令和2年(2020年)

中央図書館再開

この年の4月、大規模改修工事を終えた中央図書館が再開し、中央図書館、3分室、配本所においては指定管理による運営が始まりました。

これにより新たなサービスが次々とスタートします。

主なものとして、同9月には託児サービスを開始、翌令和3年(2021年)1月には電子図書館をオープン、同7月には軽食販売をスタート、同9月にはYA(ヤングアダルト)コーナーの設置、令和4年(2022年)10月には戸田市立図書館を使った調べる学習コンクールを開催、同11月にはバリアフリーコーナーの設置など、次々と新しい事業を展開しています。



令和2年(2020年) 託児サービススタート



令和4年(2022年)
図書館を使った調べる学習コンクール開催

あとがき

最後までご覧いただきありがとうございます。

今回は、図書館で保管している写真の中から、特に印象深い出来事を中心にご紹介しました。写真を通して、皆様の記憶の中にある図書館を思い起こし、懐かしんでいただけたら幸いです。

※この「あとがき」と「奥付」は、本庁舎、中央図書館及び上戸田分館で展示した際に作成したものです。

2023年10月17日

写真で振り返る図書館の歴史

作成 生涯学習課図書館担当

協力 戸田市立中央図書館
戸田市立図書館上戸田分館

図書館40年の歩み(年表)

■図書館開館前■

昭和44年(1969年)	3月	福祉センター(現・上戸田福祉センター)内に図書室開室
昭和47年(1972年)	3月	福祉センター図書室を上戸田福祉センター図書室に改称
	6月	西部福祉センター内に図書室開室
昭和49年(1974年)	5月	東部福祉センター内に児童図書室開室
昭和51年(1976年)	11月	市内の福祉センターに公民館を複合施設として設置(上戸田・西部・東部の各福祉センター図書室は中央公民館・西部分館・東部分館図書室となる)
昭和52年(1977年)	5月	中央公民館新曽分館内に新曽分館図書室開室
昭和56年(1981年)	3月	戸田市立図書館建設基金条例公布
	6月	中央公民館に視聴覚ライブラリー設置 市議会で図書館建設の地質調査、設計委託料、用地購入費が可決
	12月	中央公民館に図書館設立準備室設置
昭和57年(1982年)	1月	図書館・郷土博物館の建物建築確認
	2月	図書館・郷土博物館の建設工事着工
昭和58年(1983年)	4月	戸田市立図書館設置及び管理条例施行 各公民館図書室が図書館分室に移行、運営
	7月	図書館・郷土博物館の建設工事完了
	8月	視聴覚ライブラリーが図書館に移管
	9月	戸田市立図書館協議会発足
	10月	郵政省から盲人用録音物発受施設の許可を得る

■図書館開館■

昭和58年(1983年)	11月	図書館(本館)開館 コンピュータシステム稼働(第1期) 「古典講座」開始
昭和59年(1984年)	1月	「映画会」開始
	2月	「ストーリーテリング講座」開始 「歴史講座」開始(～平成10年度)
	3月	「視聴覚機器技術講習会」開始(～平成16年度)
	4月	「おはなし玉手箱」開始
	9月	図書館報『みみずくだより』創刊(～平成12年1月)
	10月	新着図書案内『あたらしい本』創刊
	12月	子ども向け図書館報『わいわいだより』創刊
昭和60年(1985年)	3月	「朗読者養成講座」(現・音訳者養成講座)開始
	4月	美笹分室、「おはなし玉手箱」開始
	12月	児童用の図書案内『ブックリばこ』創刊
昭和61年(1986年)	1月	市内小学校に「みみずく文庫」開設
	8月	福祉青少年会館内に下戸田南分室開室

昭和 62 年 (1987 年)

- 1 月 戸田公園駅に返却ポストを設置
- 4 月 県南 3 市 (川口、蕨、戸田) の広域利用の試行開始
- 6 月 CD の貸出開始
- 7 月 本館、分室間のコンピュータオンライン化

■図書館 5 周年■

昭和 63 年 (1988 年)

- 4 月 県南 5 市 (川口、草加、蕨、戸田、鳩ヶ谷) の広域利用の試行開始
- 7 月 コンピュータシステム更新 (第 2 期)
- 8 月 開館 5 周年記念行事「子ども一日図書館員」開催
- 11 月 開館 5 周年記念講演会「読書の楽しみ」開催

平成元年 (1989 年)

- 1 月 「絵本カルタ大会」開始
- 7 月 「文学講座」開始

平成 3 年 (1991 年)

- 8 月 利用者用端末機導入

平成 4 年 (1992 年)

- 11 月 「折り紙講座」開始

■図書館 10 周年■

平成 5 年 (1993 年)

- 4 月 県南 5 市広域利用を試行から本実施へ
- 7 月 コンピュータシステム更新 (第 3 期)
- 8 月 ビデオテープの貸出開始
在勤・在学者への視聴覚資料の貸出開始
貸出冊数・期間の改定
(図書・雑誌 5 冊→6 冊、視聴覚資料 15 日→8 日)
書誌検索用に CD-ROM (J-BISC、TRCD) を導入、J-BISC 用端末機を導入

平成 6 年 (1994 年)

- 2 月 開館 10 周年記念として『戸田市立小・中学校児童生徒読書感想文集』刊行
- 4 月 複写サービス取扱要項制定
- 12 月 リサイクル図書コーナー設置

平成 7 年 (1995 年)

- 1 月 旧浦和市との広域利用開始
広域利用者への視聴覚資料の貸出開始
- 4 月 資料収集方針、資料除籍基準制定
- 5 月 彩-BISC 導入
- 7 月 J-BISC、彩-BISC の利用者・業務兼用の端末機設置
- 8 月 平和図書コーナー設置
除籍雑誌のリサイクルフェア実施
- 9 月 「子どもの本の講座」開始
- 10 月 小学校での「ブックトーク」開始

平成 8 年 (1996 年)

- 4 月 連絡配本車 (巡回車) の運行を委託化
- 5 月 戸田駅、北戸田駅に返却ポストを設置
- 9 月 利用者用端末機増設
- 11 月 「ととけっこの部屋」開始

■図書館 15 周年■

平成 10 年 (1998 年)

- 4 月 図書館資料の複写手数料の改定
新曽分室の廃止

	5月	「出前講座」開始
平成10年(1998年)	10月	本館の開館時間の延長(火曜日と木曜日、午後7時まで)の試行開始
	11月	ティーンズ向け広報誌『ラブライブラリー』創刊(～平成24年10月)
平成11年(1999年)	4月	『おめでとう!いちねんせい 本はみんなのともだち』創刊
	12月	コンピュータシステム更新(第4期)
平成12年(2000年)	9月	ホームページ開設/利用者用端末及びインターネットからの予約・回送システム開始
	10月	祝日開館(本館)の試行開始
	11月	「中学生社会体験チャレンジ事業3days」受入開始
平成13年(2001年)	4月	本館の祝日開館、開館時間の延長(火曜日と木曜日、午後7時まで)を本格実施
	5月	さいたま市(浦和・与野・大宮市の合併による新市)との広域利用開始
	6月	J-BISC、彩-BISCの利用者・業務兼用の端末機廃止
平成14年(2002年)	2月	さいたま市との広域利用の協定書調印 本館所蔵視聴覚資料の分室での貸出返却開始
	4月	コイン式複写機の導入と複写料金の改訂 「ブックスタート」開始 「おはなしの部屋」開始
	11月	本館調査研究室にパソコン専用席(14席)を設置
平成15年(2003年)	2月	図書館前庭地下調整池築造工事始まる
■図書館20周年■		
平成15年(2003年)	8月	郷土博物館との共催で「コールドコット賞受賞絵本の展示会」開催
平成16年(2004年)	2月	IT推進室による市民用インターネット端末を本館調査研究室に設置
平成17年(2005年)	3月	図書館前庭地下調整池築造工事完了
	6月	本館調査研究室のレイアウト変更/ビジネス書コーナー設置
	10月	条例改正により本館・分室ともに開館日を増やす(休館日第2・4・5月曜、月末等)
	11月	図書館駐車場・駐輪場等整備工事着工
平成18年(2006年)	1月	本館図書資料へのICタグ貼付開始
	3月	図書館駐車場・駐輪場等整備工事完了
	4月	「レファレンスだより」創刊 「子どもの読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰受賞
	6月	本館に授乳室設置
	7月	「図書館市民講座」開始(～平成22年度) 「レファレンス講座」開始
	8月	本館視聴覚資料へのICタグ貼付
	10月	新電算システムの導入(第5期)及び本館にICタグ対応自動貸出機、チェックゲートを設置
平成19年(2007年)	3月	蔵書検索携帯電話用サイト開設、予約資料のメール連絡開始
	6月	本館2階カラーコピー機導入及び複写サービス取扱要項の改正

		本館 1 階に図書資料用除菌ボックス設置
平成 20 年 (2008 年)	7 月	本館 1 階カウンター改修、相談カウンターを設置 CD を開架スペースの専用棚に移設 自動貸出機による貸出開始 視聴覚ライブラリーでの DVD 映写機及び DVD ソフトの貸出開始 (市内団体向け)
	11 月	本館雑誌への IC タグ貼付
	3 月	本館 2 階にポート関連図書コーナー新設 本館 1 階にロータリー文庫 (外国語図書) の棚を設置

■図書館 25 周年■

平成 20 年 (2008 年)	4 月	本館 2 階に、利用者用オンラインデータベース導入
	5 月	本館に自動貸出機 2 台増設
	7 月	分室の図書資料に IC タグを貼付したことにより、図書館全資料に IC タグの貼付完了
平成 21 年 (2009 年)	3 月	戸田市子どもの読書活動推進計画策定 雑誌リサイクルフェア開催 (第 1 回)
	4 月	雑誌リサイクルフェア開催 (第 2 回) 4 分室の業務委託化 (昼休み開室を開始)
	8 月	郷土博物館 25 周年記念行事として合同で「探検ツアー」を開催
	9 月	図書館・郷土博物館協議会発足 貸出冊数を変更 (図書資料・視聴覚資料合わせて 1 人 10 点まで、15 日間の貸出)
	11 月	団体への大型絵本の貸出開始 25 周年記念行事「藪内竜太氏講演会」開催
平成 22 年 (2010 年)	3 月	「調べ学習指導者のための講演会」(講師:赤木かん子氏)を開催
	6 月	戸田公園駅前行政センター内に戸田公園駅前配本所開所
平成 23 年 (2011 年)	4 月	マタニティ向けブックスタート冊子を母子手帳発行時に配布
	6 月	本館の土曜日・日曜日・祝日の午前 9 時開館試行開始
	10 月	川口市・鳩ヶ谷市合併により県南 4 市広域利用へ変更
平成 24 年 (2012 年)	4 月	本館の土曜日・日曜日・祝日の午前 9 時開館本格実施
	10 月	図書館システム更新 (第 6 期)
	11 月	本館カウンター業務委託開始 本館の平日午前 9 時開館試行
	12 月	本館 1 階開架スペースに「小さな便利スポット」を設置

■図書館 30 周年■

平成 25 年 (2013 年)	7 月	開館時間変更 (本館平日午前 9 時～午後 8 時・分室午前 9 時～午後 6 時) 戸田市立図書館における貸出利用登録対象者を隣接市区在住者に拡大 (板橋区、北区、朝霞市、和光市)
	10 月	本館に防犯カメラ設置
	11 月	図書館 30 周年記念行事「みみずくとしょかんういーく」開催
	12 月	文教建設常任委員会クリスマスイベント開催

平成 26 年 (2014 年)	3 月	第 2 次戸田市子どもの読書活動推進計画策定	
	4 月	「館長への手紙」実施	
	5 月	開館 30 周年記念「作文・絵画コンクール」表彰式実施・記念誌発行	
	8 月	「理想の図書館」アンケート実施	
	10 月	読書案内コーナー設置	
平成 27 年 (2015 年)	12 月	図書館クリスマス (ビブリオバトル等を文教建設常任委員会と共催で実施)	
	2 月	貸出券更新制度開始	
	4 月	館内 BGM 放送開始	
	5 月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 生涯学習総合情報コーナー設置	
	8 月	上戸田分室閉室	
平成 28 年 (2016 年)	9 月	上戸田分館開館 (指定管理者による運営・4 年 7 か月) IC タグ対応自動貸出機、チェックゲートを設置	
	11 月	名作映画鑑賞会開催	
	12 月	図書館クリスマス開催 (ビブリオバトル等を文教建設常任委員会と共催で実施)	
	3 月	図書館ビジョン策定	
	4 月	戸田市子供読書手帳配布開始	
平成 29 年 (2017 年)	12 月	図書館クリスマス開催 (ビブリオバトル等を図書館主催で実施)	
	4 月	新小学生全児童への『戸田市子供読書手帳』配布を開始 「戸田市立図書館に関する利用者アンケート調査」(4 月 25 日～5 月 15 日)	
	8 月	電気設備故障のため図書館本館臨時休館 (8 月 16 日～31 日)	
	10 月	本館大会議室での臨時自習席の開設を開始 (平成 29 年度は整列入館実施日かつ当日の大会議室の利用予定がない日に全 7 回実施した。)	
	12 月	図書館クリスマス開催 (ビブリオバトル等を図書館主催で実施)	
平成 30 年 (2017 年)	4 月	戸田市視聴覚ライブラリーの廃止	
	7 月	図書館本館および郷土博物館の設備改修工事に伴う休館 (令和 2 年 3 月まで) 図書館本館代替え措置として新曽配本所開設 (令和 2 年 3 月まで)	
	10 月	設備改修工事開始 (令和 2 年 1 月まで)	
	令和 2 年 (2018 年)	1 月	設備改修工事終了
		2 月	本館再開準備 (3 月 31 日まで)
3 月		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、サービスの一部 (資料の閲覧、座席の利用、利用者端末機の利用) を休止 (3 月 4 日～4 月 10 日) 第 3 次戸田市子どもの読書活動推進計画策定 新曽配本所の廃止	
4 月		中央図書館 (本館から名称変更) 再開 (4 月 1 日指定管理者による運営開始・5 年) 上戸田分館 (4 月 1 日指定管理者による運営 [第二期]・5 年)	

- 令和3年(2019年)
 - 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出に伴い、全館臨時休館(4月11日~5月19日)
 - 5月 段階的にサービス再開
 - 9月 託児サービス開始
 - 1月 電子図書館サービス開始
 - 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出に伴い、サービスの一部(資料の閲覧、座席の利用、利用者端末機の利用)を休止(1月12日~3月21日)
 - 7月 軽食販売開始
- 令和4年(2020年)
 - 9月 YA(ヤングアダルト)コーナー設置
 - 3月 第2次戸田市図書館ビジョン策定
 - 7月 戸田市デジタルアーカイブ開設
 - 10月 第1回戸田市図書館を使った調べる学習コンクール開催
 - 11月 バリアフリーコーナー設置
- 令和5年(2021年)
 - 1月 貸出冊数変更(図書資料・視聴覚資料 合計1人30冊まで、ただし視聴覚資料は全10点まで)

■図書館40周年■

- 令和5年(2021年)
 - 4月 美笹おはなし会開始
 - 5月 新型コロナウイルス感染症によるサービス制限を完全撤廃
 - 9月 全館で絵本の配架を絵作者順に変更
 - 11月 「40周年としょかん感謝祭」開催





MEMORY

MEMORY

MEMORY

- ・図書館で働いていた人たち
- ・図書館のボランティアさんたち
- ・利用者の皆様

「図書館で働いていた人たち」の思い出

●忘れられない日々 元戸田市立図書館・郷土博物館 館長の佐藤勝巳氏

私が、図書館・郷土博物館長（事務取扱）を拝命したのは、2008年（平成20）年4月からで、戸田市の機構改革の一環で図書館と郷土博物館が統合されて最初の館長としての赴任であった。そして、その任期中にあの惨事が起こった。

その日、2011年（平成23）3月11日（金）は、午後から県南各市の図書館の館長による会議が、浦和の埼玉会館において開催された。

会議はその日の議題を順調にこなして、14時30分過ぎには終了したと記憶している。私は戸田（図書館）に戻ろうと、浦和駅に向かって歩いていたところ、突然目眩に襲われた。と思ったが、周りから大きなよめきとともに、地面が揺らぎ、街灯がぎしぎし鳴っていた。とっさに「地震!？」と思い、急ぎ駅前のタクシーに文字通り飛び乗った。そのときは一刻も早く戻らねば、との思いでタクシーを使ったのだが、後で知ったのだが、既にそのときには電車は止まっていた。戻る途中にも大きな揺れに襲われ、車が大きく揺らいでいた。窓から止まった車がバウンドしているのがみえていた。車内のラジオからは緊迫した声が聞こえていた。

「東北地方太平洋沖地震」である。

急ぎ戻ると、既に主幹等館員の指示で、館内から利用者は退去しており、幸い建物にも展示物等（郷土博物館）にも大きな損傷はみられなかった。その日は、館員にはなんとか帰宅してもらったが、私は館内に泊まり、警備等に当たることになった。その後の経緯は『戸田市史—昭和から平成へ』に記されている通りであるが、奇しくも、この年の3月をもって私は定年退職することになっていた。“その日”からの3週間ほどは怒濤のように過ぎ去り、定年を迎えることとなった。あの時のことは人生でも決して忘れようのない日々であり、館長時代でもあった。このときは、また10年後に新たな危機「新型コロナウイルス」による厄災が起こるとは、知る由もなかったが…。



東日本大震災のため臨時休館



震災直後の上戸田分室内

●開館当時の思い出とみみずく 戸田市立図書館初代館長・宮澤征雄 氏

当館のシンボルマークは「みみずく」ですが、一般的に図書館では、ローマ神話の女神ミネルバの従者「ふくろう」が象徴として挙げられています。

しかし、当館が「みみずく」とした理由は、開設準備当時に市内で「みみずく」が採集され、はく製として寄贈されたことによります。これは、当館の将来の発展に良い縁であろうと考え、大切に図書館で保存いたしました、この縁で、当時の岡田教育長のご指導を頂きながら、当館のシンボルマークとして使用した次第です。

なお、このはく製のミミズクは、当館の玄関横にある石像のモデルにもなっています。

また、開館後しばらくの間は、写真のようなワッペンを作り、カウンター勤務職員が胸に表示をし、利用者の皆様に対応いたしました。



【写真解説】上の写真のミミズク（トラフズク）の剥製は、昭和55年（1980年）3月に市民の方より寄贈されました。図書館開館当初はガラスケースに入れて会議室に飾ってありましたが、現在は戸田市立郷土博物館で保管しています。

また、昭和60年（1985年）11月にも、図書館の敷地内で窓に当たって亡くなったと思われるミミズク（オオコノハズク・下の写真）が発見され、郷土博物館で剥製にして保管しました。当時の戸田市は、野生のミミズクが棲息する環境にあったことも驚きですが、図書館の敷地内で発見されたというのも深い縁を感じます。

※みみずくの写真は、戸田市立郷土博物館より提供



左から、たんけんツアーのマスコットキャラクター・ホーリックくん、
図書館のマスコットキャラクター・みみずくのみみちゃん、
レファレンスカウンターのマスコットキャラクター・レミさん

「図書館のボランティアさんたち」の思い出

●スペシャルインタビュー

元おはなしボランティア 山中 勇夫 様

図) 本日はお忙しい中、インタビューにご協力ありがとうございます。

山中さんには「図書館の思い出」にたくさん投書していただき大変感謝しています。その中のいくつかの話について詳しくお聞きしたいのですが、まずは、山中さんが「おはなし玉手箱」にご参加されたきっかけを教えてください。

山) 戸田市立図書館ができるまで読み聞かせとは無縁でしたが、自分の子どもには添い寝の際に良く絵本の読み聞かせや素話をしていました。子どもが大きくなって話す機会がなくなった頃に図書館ができて、すぐにストーリーテリング講座の参加者募集の告知がありました。よその子に話をするのはどんなものだろうと興味半分、ひやかし半分で応募したことがおはなし玉手箱への参加に繋がっていきました。

図) その時のストーリーテリング講座の思い出をお聞かせください。

山) 教材は「くまのコールテンくん※」の絵本でした。最初に基本を教わり、後半にはおはなしコーナーで子ども達の前でストーリーテリングを実践しました。子ども達は話を聞いてくれないのではないかと思っていたのですが、話を始めるととても熱心に聞いてくれて驚いたのを覚えています。

※「くまのコールテンくん」ドン・フリーマン 作、松岡享子 訳

図) そして4月から「おはなし玉手箱」が始まったのですね。当時の様子をお聞かせください。

山) 職員さんもボランティアもとても熱心に取り組んでいました。とても語りの上手な方もいらっしゃいました。当時はおはなし会が珍しかったから子どもがたくさん集まっていました。

夏は夏休みスペシャルでこわいおはなし、冬はクリスマススペシャル、正月明けに絵本かるた大会をやっていました。

図) 翌年には美笹公民館で「おはなし玉手箱」を開催したそうですね。

山) ある方から誘われたのをきっかけに美笹公民館でもおはなし会に参加しました。ここでは歌を取り入れました。小さいピアノを持ち込み、参加する子供たちには手作りの小冊子を作って配りました。イラストが得意な方が歌詞と挿絵を描いてくれて、とても素晴らしい小冊子になりました。※写真参照



山中 勇夫 様

戸田市立図書館のおはなし玉手箱創設メンバーで、現在は、上戸田分館おはなし会、小学校朝の読み聞かせ、放課後子ども教室等で活躍中



図) 当時の様子がとても良くわかりました。現在もおはなし会に参加されているとお聞きしています。

山) 上戸田分館のおはなし会に参加しています。赤ちゃん向けのおはなし会にはスタートしてすぐの頃から参加しています。30分くらいの間に終わりの歌を含めて3曲くらい歌を入れています。参加してくれる親御さんたちに、小さい時に一緒に歌を歌っていると、大人になってからその歌を歌った時にその時のことを思い出すから、今のうちに一緒にたくさん歌を歌った方がいいよ、と伝えています。

そのほかに、小学校の朝の読み聞かせや放課後子ども教室に参加しています。

図) 今も様々な取り組みをなさっていて素晴らしいです。本日はありがとうございます。

●図書館の思い出 元おはなしボランティア 山中 勇夫 様

①おはなし玉手箱のこと……

昭和58年11月に開館した市立図書館は、翌年の2月から3月に計6回(各回2時間)ストーリーテリングの講座を開いて本の選び方、読み方、語り方などを教え、講座の終盤では来館した子供たちにお話の語ることを体験させて、4月から「おはなし玉手箱」を始めました。発足時は図書館職員3名と受講者9名の12名でしたが、同年の10月には職員6名と受講者など19名、計25名となりました。この「おはなし玉手箱」は今も続いています。



②船が沈んだのはどこの海?……

本館から1年遅れで、美笹分室でもおはなし玉手箱を開催しました。30分位のお話の時間の前に童謡のやぎさんゆうびん、思い出のアルバムなどを30分ほど、歌う時間を設けました。忘れられないのは素話で語った「海の水はなぜからい」です。お話を終えると低学年らしい姉妹が「いまの話の海はどこですか、夏休みに海へ行く

んです。」私は「何しろ古い昔の話だからね、今となっては分からないのだよ」と答えたのでした。

③博物館の古民家で昔話を……

平成18年の秋に博物館職員と行動した。私は博物館内にある古民家で昔話をしたいものだと思っていた。いまや戸田っ子の多くはマンション育ちだろう。天井裏のないマンションで山姥の昔話を聞いても実感がなかろうが、隠れている牛方の気持ちも山姥が甘酒をわかす囲炉裏の様子も古民家でならよくわかる、と。その後、昔話を古民家で語る会を図書館行事で催していることを知ったが、未だに私は語らせてもらえない。



平成26年の古民家でのおはなし会

④絵本かるた大会……

絵本カルタ大会の様子今も続いているか知りませんが、1月には「絵本かるた大会」をしました。場所は視聴覚室、取り札は廃棄した「ぐりとぐら」や「グルんぱの幼稚園」の様な絵本の表紙でした。平成19年は1/9から1/23まで(5回)予選、1/30決勝で、1月の玉手箱は全てかるた会でした。室内は子供たちと職員・ボランティアだけで、親たちは部屋から出てもらいます。かるた会は白熱し、ゴツンこをして泣く子も出ます。行司役の大人も真剣に見張ったものです。



当時の絵本かるた大会の様子

⑤夏休みスペシャルのこと……

手元に残った資料だと、平成19年の8月には「夏休みスペシャル」と名付けて、7回のお話会を開いています。場所は視聴覚室、「ザブーン 海のはなし」、「ブルブル おばけのはなし」、「きらきらあついはなし」のように毎回テーマを決めての30分間。職員とボランティアがペアで、絵本の読み聞かせ、素話、パネルシアターなど、話し手が得意のやり方で対応していました。



平成26年の夏休みスペシャル



●スペシャルインタビュー

おはなしボランティア 駒澤 久子 様

図) 本日はお忙しい中、インタビューにご協力ありがとうございます。駒澤様は「戸田市に図書館を作ろう」という市民活動を推進されていたと伺っています。戸田市に図書館ができるまでの経緯を教えてください。

駒) 昭和41年に市制が施行され、市に相応しい施設を作ろうという機運が高まりました。市役所に対して毎年図書館建設のお願いをしましたが、いつも他にも作らなければいけないものがたくさんあるからといって、図書館の優先順位は高くないと言われていました。

図) 何度も何度もお願いしに行ったのですね。

駒) 市役所の担当者にはこの時期になると決まって現れる、といって笑われていました。

図) 図書館ができるまでの間、何か読書活動をされていたのでしょうか？

駒) 図書館ができるのを待てないので自分たちで子ども文庫を2つ作りました。また、昭和44年を皮切りに各福祉センター内に図書室ができたので、図書室を中心に読み聞かせなどを行っていました。当時の図書室は子どもが気兼ねなく遊びに来られる場所だったので、なかには床の上で本を読んでいる子がいるなど、とても暖かい雰囲気の場所でした。

図) そのような状況の中で図書館建設が決まったのですね？

駒) 昭和50年代の中ごろ、急に図書館を建設することが決まったと伝えられ、それから図書館が完成するまではあっという間でした。

図) 完成した戸田市立図書館は当時としては最先端の設備を備えた立派な図書館でした。

駒) 本当に立派な施設でびっくりしました。他県も含め多くの自治体から見学にきていました。素晴らしい図書館でとても誇らしかったです。

図) 図書館のオープンにあたっては何か協力をされたのですか？

駒) 最初に揃える本のブッカー掛けやラベル貼りを数カ月間協力しました。でも協力ではなくアルバイトとしてお金をもらっていました(笑)。

図) そのような皆様のご協力のもとに図書館がオープンしたのですね。皆様のこのような努力があって今の図書館があることを理解しました。本日はありがとうございました。



駒澤 久子 様

- ・おはなしボランティア
- ・音訳ボランティア
(朗読の会)メンバー
- ・戸田市地区文庫協会副代表
- ・元戸田市立図書館・
郷土博物館協議会委員

「利用者の皆様」の思い出

図書館開館40周年を記念して、利用者の皆様から「図書館の思い出」を募集しました。図書館来館者には、直接、応募用紙に記入してもらい、非来館者にはWebフォームから応募してもらい、あわせて67通の「思い出」が寄せられました。

「図書館の思い出」は中央図書館ロビーの掲示板に設置した「思い出のツリー」（写真参照）に貼り、感謝祭当日まで葉の形をしたメッセージカードが生い茂るのを見守りました。

また、印象に残った「思い出」についてはホームページでも公開しましたので、ここに記録として残すこととします。



戸田市立図書館40周年記念事業

図書館の思い出 教えてください。

素敵なエピソード、お待ちしております。

40周年を記念して戸田市立中央図書館玄関ホールに登場するメッセージツリーを、皆さんの思い出でいっぱいしましょう。

- 募集内容 戸田市立図書館についてのあなたの思い出を教えてください。
- 応募資格 戸田市立図書館を利用したことがある方などなでも。
- 応募方法 図書館内に備え付けの応募用紙に記入して応募箱へ投函、または応募フォームから送信
- 字数 200字程度（タイトル含む。）
- 応募期限 2023年11月5日（日）受付分まで（受付した日から随時掲載）
- 作品の利用 図書館玄関ホールに設置するメッセージツリーに掲示、図書館ホームページなど記念事業に伴う広報活動全般に利用
- その他
 - ・自作未発表の作品に限ります。
 - ・無断転用したもの、個人や特定の団体を誹謗中傷するものなどは不可です。
 - ・原則として応募のあった作品はすべて展示しますが、上記に該当する作品は応募無効とします。また、文字数が多い場合など掲載の都合により、作品を一部修正・加工させていただく場合があります。
 - ・応募作品の著作権は戸田市に帰属します。
 - ・応募作品は返却しません。

主催・お問合せ先
戸田市立中央図書館
電話 048-442-2800 FAX 048-442-2801
戸田市立図書館ホームページ (<https://library.toda.aotomae.jp/>)

●夏の思い出

ペンネーム また図書館でのんびり過ごしたい人様

夏休みの間、戸田市のことを調べるために図書館の2階へ通ったことがあります。当時は周囲に田んぼが残っているような環境で、冷房の効いた館内の窓からは、夏の陽射しに照らされた緑の稲穂がゆらゆらと揺れているのが見えました。まさに長閑を絵に描いたような光景でしたが、疲れた私の脳と眼には十分な癒しを与えてくれました。

もっとも、これが午後だと話は別です。それは、癒しとは逆に、睡魔という名の魔物と戦うスイッチにしかかなりえませんでした。

素敵エピソードとは程遠い学生時代にありがちな思い出ですが、私にとってあの夏の経験は、間違いなくベストオブ「図書館の思い出」です。



昭和63年（1988年）図書館周辺の光景

●残像 ペンネーム 戸田生まれ図書館育ち 様

生まれて初めて利用した図書館は上戸田分室だった。もう取り壊されて他所へ移設されているが、あの道を通り過ぎるたびに子供の頃の記憶が呼び起こされる。

夏休みに朝早くから本を借りて、好きなだけページをめくることができるあの空間は色褪せない。

少し薄暗くて、よくクーラーの効いた、決して広くはなかったあの図書館は、今でも私にとっての図書館だ。

図書館といったらまず最初に、青みがかった記憶とともに上戸田分室を思い出す。

【写真解説】右の写真は1984年（昭和59年）に上戸田分室で撮影したものです。戸田第一小学校の学区内にある上戸田分室では、平日の午後、授業を終えた子供たちが本を選んだり読んだりする姿を目にすることができました。



●無題 ペンネーム アロマ 様

私はお母さんといっしょに、この図書館に何回かきたことがあります。本がたくさんあって私一人で見つけるのはおもしろいけれど、お母さんといっしょに見つけると、すぐ、かんたんに見つかるので、私はこの図書館が大好きです。ゆいいつ、ここが私の好きな図書館なので、つぶれてほしくありません。

これからもお母さんかお姉ちゃんといっしょにきたいです。

【図書館からのコメント】はい。図書館がなくならないように頑張ります。これからも図書館でたくさんの思い出を作ってくださいね。

●無題 ペンネーム 猫男 様

たまに敷地内で見かける図書館の「看板猫」。運がいい時しか出会えないのも、守り神っぽくていいですね。時折、図書館の窓辺で日向ぼっこしてます。これからもパトロールよろしくお願いします！！

【写真解説】右の写真は、今年4月13日の朝、図書館正面玄関付近で撮影したものです。この猫ちゃんは何代目「看板猫」でしょうか。建物の周辺には木陰となる木々があるためか、昔から猫ちゃんお気に入りのお昼寝の場所となっていました。



●上戸田分室 ペンネーム 次郎 様

九州から引っ越して来て関東に不慣れだった日々、戸田市立図書館上戸田分室に通うのが楽しみでした。

お勧め本が棚に並び、お手製のガイドブックまであるのが嬉しく、おかげで出会えた良書がたくさんあります。

十二国記シリーズもここで教えて貰いました、今も愛読しています。

本に詳しい司書さんの笑顔に迎えられ、分室に足を運んだ日々は私の宝物です。

【写真解説】1999年（平成11年）7月に、上戸田分室で撮影したものです。当時の上戸田分室では、多くの人に読書を楽しんでもらいたいと願い、独自に本を紹介する情報誌「ラブラブライブラリー」を発行していました。皆様の読書ライフの助けとなっていたのなら嬉しく思います。



●無題 ペンネーム 戸田1年生 様

最近こちらの図書館を使わせて頂くようになったのですが、3Fの博物館と併せて、今まであまり知らなかった戸田の魅力を知ることができ資料が充実していて助かっています。まだ「思い出」はあまりありませんが、これから長く利用させて頂く中で、素敵な思い出がたくさんできたらいいなと思っています。

【図書館からのコメント】戸田1年生様の歩まれるこれからの人生の中に、図書館での素敵な思い出がたくさん刻まれますように、我々も日々、努力して参ります。

●無題 ペンネーム sa-hai 様

小一のときから本がすきなので、ここにきていました。おかげでいっぱい本を読むことができ学校でひょうしょうじょうもとることができました。図書館はすてきなところ です。

【図書館からのコメント】本を読んで過ごした日々が、将来、sa-hai様にとって大きな宝物になってくれたら、私たちはとても嬉しく思います。これからも図書館での思い出をたくさん作ってくださいね。

●無題 ペンネーム ミステリー小説好き 様

小学校の町たんけんでのこの図書館に来て、それでまた来たくなつたのを覚えています。私の大好きな本に出会ったのもここです。勉強に役立つ本もあって、ここに来たら何でもあると思いました。家は三人兄弟ということもあって、いつも落ちつけずにいたのですが、ここは静かなのでよく来ています。

【図書館からのコメント】大好きな本に出会えるって素敵なことだと思います。これからもたくさんの素敵な本に出会えますように。

●無題 ペンネーム 小説大好きっ子 様

いつも図書館にきていて、だいたい9、10くらいかりていました。おかげで全ぜんよんでなかった本をたくさんよむようになったし、小説のことを知り、大好きになりました。それが思い出です。

【図書館からのコメント】小説大好きっ子様は、小説と出会って、本を読む楽しさを知ったのですね。素敵な思い出を紹介してくれてありがとうございます。

●図書館で勉強できない ペンネーム 本の虫 様

学生時代、試験前に図書館で勉強をしようとしたのですが、読みたい本がたくさんあり、つつい本を読んでしまい勉強に集中できませんでした。

結局、勉強は家ですることにし、図書館では好きな本を読むことに、試験前は図書館に行かなかった思い出があります。

【図書館からのコメント】本の虫様にとって試験前の図書館は、誘惑いっぱい空間だったのですね。それは、「本好きさんあるある」かもしれませんね。

●逃げた先で見つけたもの ペンネーム ジドウシヨスキー 様

中学1年生のとき、生きているのがつらくて、現実から逃げるように本を読み始め、市内の図書館にも通うようになりました。でも、当時出会った本が、それまでの自分の価値観を変えてくれたおかげで、今では、つらいことがあっても、「生きていて幸せだ」と思っています。

また、色々な分室を開拓するうちに、市内でも今まで行ったことの無かった場所に行けたりして、行動範囲が広がったのも楽しかったです。

【図書館からのコメント】読書を通して数多の先人たちと対話することは、時に楽しく、時に苦しく、感動したり、悩んだり、ジドウシヨスキー様のように人生を変える大切な本と出会うこともあります。この度は、ステキな思い出を教えてください有難うございました。図書館が少しでもお役に立てたというお話は、ここで働く私たちの励みにもなりました。これからも、図書館を通じて、たくさんの幸せに出会えますように。私たちもそのお手伝いができるよう努めて参ります。

●思い出いっぱいの市立図書館 ペンネーム たくちゃん 様

幼い頃、母と一緒に絵本や紙芝居を借りに頻繁に通っていました。

小学生になると自由研究のネタ探しに通ったり、当時本館の周囲は田んぼだらけで、トンボやヤゴ等を捕まえて遊んでいました。

中学生の頃は職業体験で3日間お世話になり、高校生、大学生になると試験勉強のためによく自習席に通っていました。

大人になった今でも時々自習席を利用しています。

思い出いっぱいの中央図書館。これまでありがとう。これからもよろしくね。

【図書館からのコメント】たくちゃん様は幼い頃から図書館を身近に感じ、大人になった現在もお利用してくださっているのですね。有難うございます。これからも多くの皆様がすべてのス

ページで利活用できる図書館を目指し、努力して参ります。こちらこそ、これからもどうぞ宜しくお願いします。



EVENT

EVENT

EVENT

・40周年としょかん感謝祭チラシ

・40周年としょかん感謝祭等

イベント報告

40周年としょかん感謝祭チラシ

戸田市立中央図書館創立40周年記念

40周年 **ありがとう!**
としょかん感謝祭

2023 **11/3(祝・金)~11/5(日)**

3日(祝・金) 9:15~16:00
4日(土) 10:00~16:30
5日(日) 9:30~16:30

会場：戸田市立中央図書館

★主なイベント内容(一部事前予約制)

- ・児童作家あびるやすこ先生トークショー・サイン会
- ・おはなしボランティア「古民家おはなし会」
- ・とだ市民吹奏楽団による40周年スペシャルアンサンブルコンサート
- ・英語おはなし「食いごたのしむマザーグース」
- ・図書館なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」
- ・プログラミング講座「図書館でプログラミングワークショップ」
- ・マルチメディアデザイン体験会
- ・バリアフリー映画会「武士の家計簿」など

同時開催
40周年クイズイベント
分館・分室・配本所にて

お問い合わせ：戸田市立中央図書館 TEL 048-442-3100(9:00~20:00/土・日)

11/3(祝・金)

名	会場	時間	対象	料金	備考
オープニングコンサート とだ市民吹奏楽団40周年スペシャルアンサンブルコンサート	ロビー	9:15~9:45	どなたでも	55席	無
児童作家あびるやすこ先生トークショー・サイン会	2階読書室	10:00~11:00 (読書室45)	どなたでも (上座優先)	80席	10/15日9:00~閉館、F.A.K.フォーラム入室(先着順)
英語おはなし「食いごたのしむマザーグース」	ロビー	11:00~11:30 (読書室45)	幼児~小学生とその保護者	18席20席	5/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)
図書館なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」	2階読書室	13:00~14:00 (読書室45)	幼児~小学生とその保護者	80席	無
マルチメディアデザイン体験会	2階読書室	14:00~15:00 (読書室45)	小学生~中学生とその保護者	35席20席	5/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)
バリアフリー映画会「武士の家計簿」	2階読書室	15:00~16:30 (読書室45)	どなたでも	36席	10/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)

11/4(土)

名	会場	時間	対象	料金	備考
「おはなし」ボランティア「古民家おはなし会」	2階読書室	10:00~11:00 (読書室45)	どなたでも	80席	無
プログラミング講座「図書館でプログラミングワークショップ」	2階読書室	13:00~14:00 (読書室45)	小学生~中学生とその保護者	35席20席	5/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)
バリアフリー映画会「武士の家計簿」	2階読書室	15:00~16:30 (読書室45)	どなたでも	36席	10/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)

11/5(日)

名	会場	時間	対象	料金	備考
とだ市民吹奏楽団40周年記念演奏会	ロビー	9:30~10:30 (読書室45)	小学生とその保護者	18席20席	10/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)
英語おはなし「食いごたのしむマザーグース」	ロビー	10:40~11:00	幼児~小学生とその保護者	無	無
図書館なぞ解きイベント「ひゃっか王からの挑戦状」	2階読書室	13:30~14:00 (読書室45)	幼児~小学生とその保護者	80席	5/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)
プログラミング講座「図書館でプログラミングワークショップ」	2階読書室	15:00~16:30 (読書室45)	小学生~中学生とその保護者	35席20席	5/15日9:00~閉館のみ入室(先着順)

11/3(祝・金) 11/5(日)

名	会場	時間	対象	料金	備考
読者の声「読者の声」	ロビー	9:00~10:00	どなたでも	無	無
読者の声「読者の声」	ロビー	10:00~11:00	どなたでも	無	無

★分館・分室・配本所にて40周年クイズイベント同時開催！
イベントの事前申し込み方法・詳細・最新情報は戸田市立図書館ホームページにてご確認ください。
予約制のもの、定員に達している場合があります。尚、当日の定員が余裕な場合は追加受付が出来ます。
上記イベントは、全て参加費は、無料になります。

40周年としょかん感謝祭等イベント報告



とだ市民吹奏楽団のオープニングコンサートでスタートした初日、いつもとは違う特別なおはなし会や児童作家・あんびるやすこ先生のトークショー&サイン会などを開催し、お祭りムードたっぷりのにぎやかな一日となりました。

とだ市民吹奏楽団40周年スペシャルアンサンブルコンサート



●イベントの概要と当日の様子

感謝祭のオープニングセレモニーとして、戸田市を拠点に活動しているとだ市民吹奏楽団の皆様にはスペシャルアンサンブルコンサートを開催していただきました。

ドラえもんやとなりのトトロ、ディズニーの曲などお子様でも楽しめるような曲が流れると、皆さん、音楽にあわせて手拍子をするなど会場が



一気に明るい雰囲気に包まれました。

また、「糸」や「川の流れのように」など、しっかりとした曲の演奏には静かに耳を傾け、演奏後には自然と大きな拍手が沸き起こりました。

とだ市民吹奏楽団の皆様、心温まるステキな演奏をお届けいただき、有難うございました。

●開催概要

開催日時：11月3日(祝・金) 9:15~9:45

場 所：ロビー特設スペース

来 場 者：62名(座席35席)

出 演：とだ市民吹奏楽団 アンサンブルユニット

演奏曲目：金管アンサンブル「ドラえもんメドレー」「となりのトトロメドレー」

クラリネットアンサンブル「パロックホウダウ〜エレクトリカルパレードのテーマ、星に願いを」

フルートアンサンブル「虹、川の流れのように」

混合アンサンブル「糸」



彩湖自然学習センター工作会 落ち葉の壁掛け作り



●イベントの概要と当日の様子

彩湖自然学習センタースタッフより、秋に紅葉する植物や戸田市の植物についてのお話があった後、落ち葉を使った壁掛け作りの工作会を行いました。

小さなお子様からご年配の方まで幅広い年代の方が参加されましたが、皆様、楽しみながら、素敵な壁掛け作りを完成させていました。

参加した方からは、紅葉する葉っぱについても学ぶことができ、勉強になりましたというお声もいただきました。



●開催概要

開催日：11月3日（祝・金） 10:00～11:00

場所：3階 講座室

講師：彩湖自然学習センタースタッフ

対象：どなたでも

参加者：30名

事前申込：10月15日（日）9:00～ 電話、FAX、専用フォームにて

参加費：無料

内容：戸田市の植物についてはなし・落ち葉を使ったタペストリー作り

●アンケート結果 ★回収：13件

記入者の年齢：20代1人、30代3人、40代8人、50代0人、

60代1人、70代0人、80代以上1人

満足度：70%1人、80%4人、90%0人、100%9人

以下、自由記述欄（抜粋）

- ・いろいろな葉っぱがきれいだった。シュワがかっこよかった
- ・思った以上に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・名前がわかってよかった。思いがけなくすてきななかべかけ作りが出来てよかった。
- ・1歳の孫が葉っぱが大好きなのでプレゼントしたいと思います。
- ・子供と一緒に学べて楽しかったです。
- ・たくさんの葉っぱの種類を知れてよかったです。子どもと楽しめて作れて楽しかったです。
- ・子どもと一緒に参加しました。葉っぱを選ぶ、配置をする、完成。すべて楽しかったです。紅葉する葉っぱの勉強にもなりました。家に飾りたいと思います。

英語でおはなし会 えいごでたのしむマザーグース



英語でおはなし会
えいごでたのしむ
マザーグース

日 時：11/3(祝・金) 11:00~11:30
場 所：2階 視聴覚室(1045号棟)
講 師：久保厚子氏
対 象：幼児~小学生とその保護者
定 員：15組30名(申込順)
事前申込：9/17(日) 9:00~電話のみ受付
参加費：無料

「えいごでたのしむ」
たいじょうあひ

〒104-8501 東京都中央区新富1丁目1-1
上野図書館中央ホール
TEL:03-4742-2800 FAX:03-4742-2801

●イベント概要と当日の様子

マザーグースをモチーフにしたおはなしや歌などを英語で楽しむおはなし会です。

英語がわからなくても大丈夫。講師の先生の歌にあわせて、始めは手拍子だけで参加、次は声を出して、目をつぶって、そして、体も使って、いろいろな動きをしているうちに、あら、不思議。みんなの声がどんどん大きく、そして、動きもリズムカルになっていきま



した。何だか楽しそうです。

今回、参加してくれた子供たちは1歳から8歳と、かなり幅広い年齢層でしたが、どの子もみんな楽しい時間を過ごしてくれたようです。



●開催概要

開催日：11月3日(祝・金) 11:00~11:30

場 所：2階 視聴覚室

講 師：久保厚子氏

対 象：幼児~小学生とその保護者

参加者：20名

事前申込：9月17日(日) 9:00~ 電話のみ受付

プログラム：1 はじまりのあいさつ「Hello, hello」

2 歌「Head, shoulders, knees and toes」

3 色の名前

4 読み聞かせ『Brown bear, brown bear, what do you see?』

5 マザーグースの本の紹介

6 おわりのあいさつ「Good-bye, good-bay」

●アンケート結果 ★回収：8件

記入者の年齢：20代1人、30代4人、40代2人、50代1人

満足度：60%1人、70%0人、80%3人、90%1人、100%3人

以下、自由記述欄(抜粋)

- ・英語に触れられて良かったです。
- ・ぜひまたこのようなイベント開催してもらいたいです。1年に1回でも良いので。子どもにとっても、とても良い学び、時間でした。英語のお話は定期的に開いてもらいたいです。他のイベントも、すべて参加したいくらい魅力あるものでした。
- ・仕事が休みの曜日と図書館のおはなし会の時間が合わず参加したいのにできません。色々な曜日でやっていただけると嬉しいです。
- ・英語の本の紹介もあり、ためになった。

あんびるやすこ先生トークショー とっておきのおはなし



●イベント概要と当日の様子
ルルとララ、なんでも魔女商会シリーズなどでおなじみの児童文学作家・あんびるやすこ先生をお招きし、編集者との対談というかたちで制作秘話や絵の描き方などの講演、クイズ、子どもたちからの質疑応答を行いました。
参加された皆さんは先生のお話をとても熱心に聞いていました。



クイズでは、積極的に手を挙げて答えており、先生の作品をよく読んでいることが伺えました。また、質疑応答では、「どうして作家になったの?」、「絵が上手なるにはどうすればいいの?」などの質問があり、先生からは、とても丁寧なご回答をいただきました。

●開催概要

開催日時：11月3日(祝・金)14:00~15:00

場 所：2階 視聴覚室

対 象：市内在住・在学の4歳~小学生とその保護者(各1名)

参 加 者：66名 ※申込多数の場合は抽選

事前申込：9月3日(日)~9月24日(日)専用フォームから参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：32件

記入者の年齢：30代5人、40代25人、50代1人

満 足 度：70%1人、80%0人、90%1人、100%26人

以下、自由記述欄(抜粋)

- ・講演会でしかきけないお話がいっぱいあっておもしろかったです。
- ・たくさん読んでいるシリーズのお話やまだ少ししか読んでないシリーズもたくさんのお話がきけて楽しかったです。
- ・まだまだあんびる先生の本を読み始めたばかりの娘(小1)ですが、今回のイベントをきっかけにますますあんびる先生の作品や本に触れる機会が多くなると思うととてもありがたいイベントでした。
- ・わたしは新かんを読んでくれたことが楽しかったです。とちゅうでおわらせていたから、とても気に入りました
- ・中学生の娘も来たがっていたので対象年齢を広げていただきたいです。
- ・先生のお話に感動しました。
- ・今日は貴重な機会をいただきありがとうございました。
- ・あんびる先生がとてもとてもすてきな方で、大人の私が元気になりました。
- ・とにかくすてきなお話でした。
- ・展示会とは違う、貴重な時間をありがとうございました。
- ・あんびるやすこ先生が私たちの気持ちを考えて本をかいてくれてうれしかった。
- ・えや本の書き方も教えてもらっておもしろかった。
- ・読みかかせが感動しました。先生のやさしい声と話し方を聞いて、本のシリーズと本当に世界観が合っていてステキでした。

- ・貴重なお話がきけてとても楽しかったです。
- ・道具や絵の描き方、参考にした資料などがみれて興味深かったです。
- ・この講座をきいた後、もう一度読み返すのが楽しみになりそうです。
- ・とても素敵な機会をありがとうございました 娘も大変喜んでます。
- ・今回、主人も一緒に参加したかったのですが「2人」という人数だったので残念そうでした。コロナがおちついたら、ぜひ家族単位で参加できると嬉しいです。
- ・あんびるやすこ先生の優しく温かい雰囲気トークショーとても楽しかったです。
- ・こどもがとても喜んでいました。すてきな企画をありがとうございました。ちょっと4才には長すぎたようです
- ・とても素敵なお話が聞けました。子供にとってもとても心に残る機会になったと思います。
- ・こどもが本や作家さんに身近に感じられるイベントはうれしいです。あんびるやすこ先生が小さいころは本が苦手だったのはびっくりしました。おかしやドレスなど作品の中のもの1つ1つていねいにつくっているのだと感じました。
- ・とても楽しく有意義な時間をありがとうございました。
- ・親子共にあんびる先生のシリーズのファンです。直接お話が聞けて、大変刺激になりました。
- ・トークショーを開催してくださりありがとうございました。このようなイベントに参加したのは初めてでしたが、娘はとても嬉しそうでした。貴重なお話を聞かせていただき、さらに本を読むのが楽しみになりました。
- ・貴重なお話が聞けて本当に楽しかったです。
- ・本のイメージした通りの先生でお話も楽しかったです。
- ・あんびるやすこさんの子供の頃のお話など少し意外な一面を知ることができました。すべてを先生一人で作られて大変な作業だなと改めて思いました。子供が心にひびく物語をありがとうございます。

あんびるやすこ先生サイン会



●イベント概要と当日の様子

トークショーに参加した皆様には、講演の後、サイン会を行い、お持ちいただいたあんびる先生の作品にサインをしていただきました。また、サインをしている間は、先生とお話したり、一緒に写真も撮らせていただくなど、とてもステキな時間を過ごすことができました。

また、先生のご厚意で、抽選にもれてトークショーに参加で

きなかつた方にも、サイン会に参加できる機会をいただきました。皆さん、とても幸せそうな表情をされていて、ますます先生のファンになったのではないのでしょうか。



●開催概要

開催日：11月3日(祝・金) 15:00~16:00

場所：2階 視聴覚室 ※15:00ロビーに集合

参加者：どなたでも、27名

事前申込：10月29日(日) 9:00~(先着順) 戸田市立中央図書館 正面玄関前にて整理券を配布

参加費：無料

図書館40周年記念おはなし会スペシャル人形劇



● イベントの概要と当日の様子

当館のおはなしボランティアによるスペシャルおはなし会です。人形劇、手遊び、クイズなど、とても見応えのあるおはなし会でした。

会場は満席で、最初のクイズから大盛り上がりです。その後のおはなしも、みんな、とても真剣な表情で見入っていました。途中、大きな歓声があがったりして、すっかりおはなしの世界に入り込んでいた様子です。

帰りには、当日の演目にちなんだ折り紙のあおむしをお土産に配布しました。



● 開催概要

開催日：11月3日（祝・金）13：00～14：00

場 所：3 階 講座室

対 象：幼児～小学生とその保護者

参加者：59名

事前申込：不要／参加費：無料

演 目：図書館クイズ、「はらぺこあおむし」、
手遊び「あおむし」、「3びきのやぎのがらがらどん」
わらべうた「ちゃつぽ」、「3まいのおふだ」

● アンケート結果 ★回収：20件

記入者の年齢：20代1人、30代10人、40代6人、50代0人、60代1人、70代2人

満足度：70%1人、80%2人、90%3人、100%13人

以下、自由記述欄（抜粋）

- ・子どもが飽きないコンパクトな話でよかった！ ヤマンバさいこう！ 本物みたい！
- ・人形劇をいつもプークまで行っていたので近くであると嬉しいです。ありがとうございます。
※プーク…渋谷にあるプーク人形劇場と思われる。
- ・ガラガラドン楽しかった（娘）
- ・孫たちが喜んでいたので満点です。ありがとうございました。
- ・初めての人形劇でしたが、子供と一緒にとても楽しめました。
- ・無料のクオリティではないくらいおもしろかったです。ありがとうございました。
- ・子どもが真剣に見入ってたのしんでました。
- ・子どもも楽しんでたようでした。ありがとうございました。
- ・とてもおもしろかった。クイズがすこしながかった。

ロビーで遊ぼう！ 彩湖自然学習センター工作会



●イベント概要と当日の様子

彩湖自然学習センターの方に作っていただいた発泡スチロールのチョウチョに、マジックで彩色し、ひらひらと飛ぶチョウチョを完成させる工作会を玄関ロビーの一角で開催しました。

短時間で気軽に参加できるイベントとして人気が高く、完成後は、こだわりの色と模様を描いたチョウチョを、皆さん、嬉しそうに



飛ばして遊んでいました。

●開催概要

開催日：11月3日（祝・金）11：00～16：00

場 所：1階ロビー 特設コーナー

対 象：幼児～小学生とその保護者

参加者：88名

軽食販売 福祉作業所ゆうゆう

いつも金曜日に出店していただいている社会福祉法人戸田わかきさ会福祉作業所ゆうゆう様が、11月3日（祝・金）10：00～15：00に出店してくれました。

ゆうゆう様といえばどらやきが有名ですが、シフォンケーキも美味しいですよ。当日は、購入したシフォンケーキを大事そうに両手に抱え、ニコニコしながら帰っていく小さなお子様の姿が微笑ましく、印象的でした。

お子様たちがイベントに参加している間は、ゆうゆう様のコーヒーでくつろいでいる保護者の方もちらほら。感謝祭にご協力いただき有難うございました。



キッチンカー「ぶらん」

11月3日（祝・金）10：00～17：00中央図書館正面玄関前でキッチンカー「ぶらん」様によるあげぱんの販売を行いました。

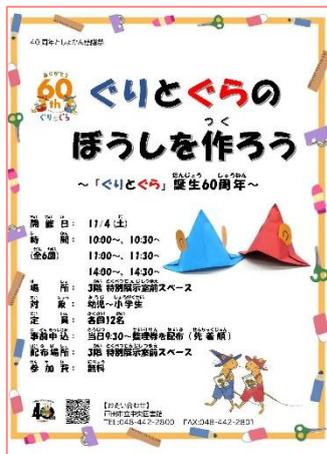
美味しいあげぱんを販売しているぶらん様ですが、この日は11月なのに半袖でも過ごせるようなお天気だったため、かき氷の販売もしていました。かき氷を手に持ち、図書館の玄関前をウロウロしているお子様の姿が、窓越しからもよく見えていました。

お祭り気分を盛り上げていただき、有難うございました。



感謝祭2日目は、バリアフリーをテーマに映画会、マルチメディアデジター体験会など図書館のバリアフリーへの取り組みを紹介するイベントを実施しました。また、図書館の歴史を知る講座や映画会など、大人向けのイベントを中心に行いました。

「ぐりとぐら」のぼうしを作ろう！ 「ぐりとぐら」誕生60周年記念



●イベントの概要と当日の様子

福音館書店『ぐりとぐら』60周年記念の企画を図書館でも実施。紙を使って、かぶることができる「ぐりとぐら」の帽子を作るイベントです。

画用紙を使用したため、小さいお子様には少し難しかったようですが、保護者の方に手伝っていただき、皆さん、可愛い帽子を作ることができました。



帽子を作った後は、用意したフォトスポットで記念撮影をしていただきました。



●開催概要

開催日：11月4日（土）

時間：10:00、10:30、11:00、11:30、14:00、14:30 ※5分～10分程度で作れます。

場所：3階 特別展示室前スペース

対象：幼児～小学生

参加者：子供のみ46名（保護者37名）

事前申込：当日9:30～ 整理券を配布（先着順）

参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：46件

参加者年齢：1歳4名、2歳6名、3歳8名、4歳2名、5歳11名、6歳5名、7歳2名、8歳3名、9歳1名、10歳2名、11歳2名

満足度：とても楽しかった37名、楽しかった9名

難易度：とても簡単9名、簡単21名、ふつう7名、少し難しい8名、とても難しい1名

以下、自由記述欄（抜粋）

- ・とても楽しかったです。とても親切に対応していただきありがとうございました。（2歳）
- ・かわいく作れてうれしかったです。（6歳）
- ・男の子でも女の子でも「青と赤どっちにする？」ときいて良かったなと思いました。またステキなイベントを企画してください。（3歳）
- ・子供が楽しそうにしてよかった！（4歳）
- ・ぐりとぐらが好きなので、イベントに行きたい！と、とても楽しみにしていました。実際に作ってみて、3歳の子でも上手に作ることができて大満足です。ありがとうございました。またイベントをやってほしいです。（3歳）
- ・フォトスポットもあってとても良い記念になりました。楽しいイベントをありがとうございました。（5歳）
- ・とてもかわいかったです！（5歳）
- ・気軽に参加できるイベントで楽しめました。（3歳）
- ・フォトブース、いいと思います。（1歳）

ぐりとぐら誕生60周年記念「ぐりとぐら」のぬりえであそぼう！



●イベント概要と当日の様子

福音館書店「ぐりとぐら」誕生60周年記念の企画イベント「ぬりえであそぼう!」を玄関脇の一角で実施しました。フラッと立ち寄れる気軽なコーナーだったので、他のイベントに参加した人も、たまたま図書館を訪れた人も、たくさんの人にご参加いただきました。



色を塗っている間のお子様方の表情は真剣! 皆さん、こだわりをもってぬりえに取り組んでいました。



●開催概要

開催日: 11月4日(土) 10:00~16:00
 場所: 1階ロビー 特設コーナー
 対象: 幼児~小学生とその保護者
 参加者: 53名

図書館と戸田の歴史 映写会



●イベント概要と当日の様子

テレ玉「ふれあい戸田」図書館特集の昭和59年1月放送分、昭和61年2月放送分から、戸田市立図書館の開館当時の懐かしい映像をスクリーンでご視聴いただきました。

また、昭和63年に製作された映像資料「戸田ふるさと散歩 新曽・惣右衛門地区」の映写も行いました。現在は失われてしまった伝統行事など貴重な映像を鑑賞することができました。

●開催概要

開催日: 11月4日(土) 10:00~11:00
 場所: 2階 視聴覚室(9:45開場)
 来場者: 2名

●アンケート結果 ★回収: 2件

記入者の年齢: 60代2人
 満足度: 100%2人
 以下、自由記述欄(抜粋)

- ・図書館の歴史がよくわかり、よかったです。「映写会」のことをあまり知られていない様で残念に思います。
- ・郷土の歴史を知る大変貴重で興味深い内容でした。特に図書館開館時の意図や想いを知ることが出来て、市の関係職(外部評価委員、自治基本条例推進委員)に從事する者として、行政サービスのあり方や市民活動を推進する上で、大変参考になりました。



図書館バリアフリーサービス展示会

●イベント概要と当日の様子

図書館で所蔵するバリアフリー資料（点字図書、LLブック、大活字本、布絵本）の展示を行い、対面朗読サービス、各種資料の貸出サービスのご紹介もしました。



●開催概要

開催日：11月4日（土）10：00～16：00
場所：1階ロビー特設コーナー内の展示ボード
定員：なし
事前申込：不要
参加費：無料

マルチメディアデイジー体験会

40 音声と文字の両方

マルチメディアデイジー体験会 and 図書館バリアフリーサービス展示会

マルチメディアデイジーとは、視覚や肢体などの障がいやディスレクシアなどの学習障がいにより、通常の本を読むことが難しい人に向けて作られたデジタル図書です。

- 音声による読み上げ
- 拡大文字
- 拡大画像
- 拡大音声

マルチメディアデイジー体験会
日 時：11/4(土曜日) 11:00~12:00, 13:00~14:00
場 所：ロビー特設コーナー内の体験ブース
対 象：マルチメディアデイジーに興味のある方
事前申込：不要 ※要領状提出が必要となる場合があります。
内 容：パソコン再生アプリ(AmEIS)のご紹介、およびPCによる体験会
デイジー専用機(PLEXITALK)のご紹介、および体験会
図書館所蔵のマルチメディアデイジー、デイジー資料のご紹介など

図書館バリアフリーサービス展示会
日 時：11/4(土曜日) 10:00~16:00
場 所：ロビー特設コーナー内の展示ボード
内 容：バリアフリー資料（点字資料、LLブック、大活字本、布絵本）、
対面朗読サービス、各種資料の貸出サービスのご紹介など

【お問い合わせ先】
PHE 五山中央図書館
TEL: 042-2830-4400 FAX: 042-2830-422801

●イベント概要と当日の様子

マルチメディアデイジーとは、視覚や肢体などの障がいやディスレクシアなどの学習障がいにより、通常の本を読むことが難しい人に向けて作られたデジタル図書です。

マルチメディアデイジーが再生できるPC用ソフト「Chatty Books」をインストールしたPCを用意し、「銀河鉄道の夜」、「赤毛のアン」、「マッチ売りの少女」、その他英語の資料を実際に再生して、操作方法や便利な機能を体験してもらいました。



●開催概要

開催日：11月4日（土）11：00～12：00、13：00～14：00
場所：1階ロビー特設コーナー内の体験ブース
参加者：31名
事前申込：不要
参加費：無料

バリアフリー映画会「武士の家計簿」

心身障害者と社会との関わり

バリアフリー映画会

バリアフリー映画とは、どなたでも見やすい映画を鑑賞できるような全編に日本語字幕や音声ガイドをつけた映画です。

武士の家計簿

磯田道史のベストセラー『武士の家計簿(加賀藩御算用者)の幕末維新』を映画化したもので、監督：森田芳光、出演：堺雅人、仲間由紀恵ほか豪華な俳優陣による作品です。

11月4日(土)
14:00~16:30
期 所：2階 視聴覚室 (13:30開場)
定 員：40名
事前申込：当日11:00~整理券配布(先着順)
配布場所：マルチメディアデイジー体験会場
バリアフリーサービスが必要な方の場合は
事前申込が必要です(予約枠に限りがあります)

参加費：無料

〒700-8502 鳥取県鳥取市東町1-1-1
TEL:0858-442-2800
FAX:0858-442-5400

鳥取県立図書館
〒700-8502 鳥取県鳥取市東町1-1-1
TEL:0858-442-2800
FAX:0858-442-5400

●イベント概要と当日の様子

バリアフリー映画とは、どなたでも同じ映画を鑑賞できるよう全編に日本語字幕や音声ガイドをつけた映画です。

「武士の家計簿」は、磯田道史のベストセラー『武士の家計簿「加賀藩御算用者」の幕末維新』を映画化したもので、監督：森田芳光、出演：堺雅人、仲間由紀恵ほか豪華な俳優陣による作品です。

当日は、目の不自由な方も電動車いすの方も一緒に映画鑑賞することができました。



●開催概要

開催日：11月4日(土) 14:00~16:30 ※上映時間129分

場 所：2階視聴覚室(開場13:30)

対 象：どなたでも

来 場 者：21名

事前申込：一般席は、当日11:00~1階デイジー体験会場で整理券を配布(先着順)

※バリアフリーサービスが必要な方の特別席は事前に申込

参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：14件

記入者の年齢：40代1人、50代0人、60代3人、70代6人、80代1人

満足度：60%1人、70%3人、80%8人、90%1人、100%1人

以下、自由記述欄(抜粋)

- ・楽しかったです。
- ・あつという間の時間でした。
- ・またこのような企画を期待します。
- ・皆様親切で可
- ・せっかくの映画なのに、みた方がすくなかった。残念です。若い方は忙しいのかも。
- ・映画はとても良かった。でも椅子が固く、長時間では疲れました。
- ・前半音が小さかったですね。
- ・映画は素晴らしかったです。ガイドも良かったです。
- ・私はNPO法人Bmapという団体でバリアフリー映画の製作、上映会等行っています。今日は参考にさせていただきました ありがとうございます。
- ・Bmapでも是非戸田市立図書館で協力させていただく機会がありましたらうれしいです。
- ・入場者、一般住民へのアピールをもう少し強く、音訳付き映画はとても興味深く観る事ができた。
- ・感涙でした。人は正直に生きること。しみじみ思いました。
- ・よい映画ではあったが、この催しの趣旨、映画が選ばれた理由の説明があってもよかった。
- ・宣伝をもう少し大きく。

元戸田市立図書館開館40周年記念
 企画展「戸田の歩みと図書館の四十年」
 ～郷土資料から考える～



11月4日(土) 15:00～16:30
 会場 3階 講座室 (1階 玄関 右側)

講師 佐藤 勝巳 氏
 30名(申込制)

参加費 無料
 申込料 10月1日(日) 9:00～ 電話、FAX、専用フォームにて
 申込(当日受付可) 申込料は当日受付可(当日受付可)

申込先 戸田市立図書館 3階 303号室 電話 042-2800-2800 FAX 042-2800-2801
 申込受付時間 10月1日(日) 9:00～16:00(受付終了後はお断りします)

申込先 戸田市立図書館 3階 303号室 電話 042-2800-2800 FAX 042-2800-2801
 申込受付時間 10月1日(日) 9:00～16:00(受付終了後はお断りします)

●イベントの概要

元戸田市立図書館・郷土博物館館長の佐藤氏による講座です。明治時代から現在の戸田市になるまでの歩みを、郷土資料をもとに読み解きました。



●開催概要

開催日：11月4日(土) 15:00～16:30
 場所：3階 講座室
 講師：佐藤 勝巳 氏
 対象：戸田市及び図書館の歴史に興味のある方ならどなたでも
 参加者：18名
 事前申込：10月1日(日) 9:00～ 電話、FAX、専用フォームにて
 参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：17件

参加者の年齢：20代以下1人、30代1人、40代3人、50代1人、60代4人、70代2人、80代5人
 難易度：わかりやすい15人、ふつう2人

以下、自由記述欄(抜粋)

- ・戸田市の変遷や図書館開館の経緯がよく学べました。大変貴重なお話をありがとうございました。
- ・戸田市の歩みをととてもわかりやすく説明して頂き、理解できました。とてもためになる講義ありがとうございました。
- ・戸田の歴史を知るの楽しいですね。先祖代々戸田なので、おじいちゃん、おばあちゃんの生きた時代に思いを馳せながら拝聴しました。
- ・戸田市はとても長い道のりを経て作られたことが良くわかりました。とてもおもしろかったです。中々学べないことなので、今日聞けてよかったです。
- ・これからいろいろ参加したいです。
- ・映像もあったら良かった。
- ・手話通訳の方々(2名)の名前も紹介して頂きたかった。
- ・佐藤氏のすばらしい講演で、戸田市の歴史を深く知ることができ、本当に感謝しています。
- ・元館長で、こんなに博識がある先生が戸田市にいらしたことを誇りに思います。是非、今後も講演して頂きたいと思います。
- ・申込について、戸田市ホームページより申込みましたが、申込が成立したのか、またはキャンセル待ちなのかわかりづらい。又、返信メールも“アンケート”を受け取った旨の内容で、申込が成立したのかわからない。文言を変えるなり受講決定の知らせなりが欲しい。



最終日は、民間企業の協力を得てプログラミング講座を開催しました。また、図書館など解きイベント、郷土博物館内の古民家でのおはなし会など「学び」をテーマにしたイベントで、幅広い世代の方に楽しんでいただきました。

世界最古の地球儀を作っちゃおう！



世界最古の地球儀を作っちゃおう！

日時：11/5(日) 9:30~10:30
 場所：3階 講座室 (9:15開場)
 対象：小学生とその保護者 ※はさみを使います。
 定員：15名30名(各2名)
 事前申込：10/22(日) 9:00~ 電話のみ受付
 参加費：無料

申込先：NPO法人 産直の会 産直センター
 TEL: 042-442-2800 FAX: 042-442-2801

●イベント概要と当日の様子

印刷されたキットを用いて世界最古の地球儀を復元するワークショップを開催しました。ハサミを使って紙を切る作業が多いため、保護者の方の助けが必要な場面もありましたが、切ったパーツを球体に貼り付ける作業は、皆さん、自分で取り組んでいました。

時間が足りず、持ち帰りになってしまった人もいましたが、皆さん、楽しい時間を過ごしていただけたようです。



●開催概要

開催日：11月5日(日) 9:30~10:30
 場所：3階講座室
 対象：小学生とその保護者 ※はさみを使います。
 参加者：22名
 事前申込：10月22日(日) 9:00~ 電話のみ受付
 参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：9件

参加者の年齢：小学1・2年生5人、小学3・4年生4人
 満足度：おもしろかった7人、まあまあおもしろかった2人
 以下、自由記述欄(抜粋)

- ・もう少し時間があると良かったです。
- ・地球儀を作るのがとても大変だったBy子ども。少しずつのずれで、最後の一枚がはれないのではないかと…と思っています。かんしゃく起こさないといいなあ…と思っています。ありがとうございました！！
- ・完成はしなかったけど楽しく作れたのでよかったです。ありがとうございました。
- ・むずかしかったけどおもしろかったけどたのしくておもしろかったです。
- ・親子でとてもたのしく参加できました。また、機会があればイベントにも参加したいです。ありがとうございました。
- ・丸い物体に貼る作業が難しそうですが、いい経験になりました。小さい子向けにもぬり絵を提供していただきありがとうございました。

古民家おはなし会



●当日の様子

郷土博物館常設展示室内にある古民家の中でおはなし会を開催しました。古民家の中という独特の雰囲気の中、昔懐かしい趣のあるおはなし会となりました。

計4回、開催しましたが、お昼前の回以外は定員を超えるほどの大盛況で、素話を初めて聴く人も多かったのですが、皆、真剣に耳を傾けていました。



また、お手玉遊びは好評で、大人も子供も楽しんでいる様子でした。



●開催概要

開催日：11月5日(日)

開催時間：子ども向け10:30~11:00、13:30~14:00

おとな向け11:30~12:00、14:30~15:00

場所：3階戸田市立郷土博物館常設展示室内 古民家

対象：子ども向け(幼児~小学生とその保護者)・大人向け

参加者：45名

事前申込：不要

参加費：無料

内容：郷土博物館学芸員による古民家の解説、図書館おはなしボランティアによる「戸田に伝わるおはなし」他。演目は各回で異なる。共通の演目は、うた「とんぼ釣りのうた」、素話「八まんさまの鐘」、「なっこうた」お手玉遊びで、その他に2から3の素話(猿地蔵、馬方やまんば、ねこの名前、米だしえびすさま、頭に柿の木、大歳の火、貧乏神)が入る。

●アンケート結果 ★回収：28件

記入者の年齢：30代4人、40代5人、50代2人、60代10人、70代2人、80代以上1人

満足度：70%1人、80%2人、90%2人、100%19人

以下、自由記述欄(抜粋)

- ・語り部の皆様がすばらしかったです。地域ネットワークの薄れている今、子どもが近所の「おじさん」や「おばさん」に昔話を聞かせてもらうような機会がありませんので貴重な経験だったと感じます。
- ・民家のカヤの話ためになりました。どの話も情景うかんでとてもたのしかったです。
- ・今日はおとなのお話会ということでたいへん楽しかったです。最後の数珠玉は懐しすぎです。
- ・小学生ぶりにじっくり古民家の中に入りました。特別な会に参加できて本当に良かったです。おはなしを聞くという体験今はもうできないことなので心のそこから楽しみにしていました。みなさんのお話とても上手で夢中になりました。お手玉もなつかしく音や手ざわりにうきうきしました。
- ・古民家の雰囲気とおはなしがマッチしてとても素敵なひとときを過ごすことができました。戸田にまつわるうたやお話を語っていただきありがとうございました。またの機会を楽しみにしております。
- ・お話を暗唱して語るのはとても難しいと思いますが、皆さんとてもお上手で楽しく拝聴させていただきました。お手玉もかなり久しぶりにしましたが、何とか出来て嬉しかったです。
- ・どの話もとてもたのしかったです。貧乏神の山形弁がとてもよかったです。もっと長い時間やってほしいです。
- ・とっても楽しいお話し会でした。学芸員の方のお話しも大変興味深く聞きました。私は小さい時はかやぶきの家で暮らしていたため、とてもなつかしかったです。

- ・おはなしの世界で幸せな時間を過ごさせていただきました。わらべうたもどこか懐かしい響きで心が温かくなりました。方言での語りもとても素敵でした。楽しい時間でした。
- ・古民家で語られるお話は余韻もありとても落ち着いていて、集中して聞くことが出来ました。語り手の表情、語り口に引き込まれました。
- ・古民家内でのおはなしということで楽しみしてきました。語り手の方々それぞれが言葉を大切に私達に届けてくださったのがとても嬉しかったです。何も見ずに語る様はとてもすばらしく、また機会ありましたら参加したいです。

プログラミング講座 図書館でプログラミングワークショップ



●当日の様子

ブロックプログラミングツール「みんなでプログラミング」を使って、プログラミングの基礎から応用まで、様々な課題にチャレンジしました。

ワークの難易度が高く、皆さん、やや苦戦していたようですが、講師の方に質問しながら最後まで真剣に取り組んでいました。



●開催概要

- 開催日：11月5日(日) ①13:00~14:30 ②15:00~16:30
 場所：3階 講座室(各回15分前に開場)
 講師：キッズプロジェクト 藤田様、レノボ・ジャパン 富澤様
 対象：小学校中学年~中高生
 参加者：①②18名(保護者7名)
 事前申込：9月24日(日)9:00~ 電話のみ受付(申込順)
 参加費：無料

●アンケート結果 ★回収：8件

記入者の年齢：小学3年生3人、小学4年生3人、小学6年生2人
 満足度：90%4人、100%4人
 以下、自由記述欄(抜粋)

- ・また機会があれば参加したいと思います
- ・おもしろかった!
- ・楽しかったです。ありがとうございました。

図書館40周年記念「みみちゃん」のぬりえであそぼう！



●イベント概要と当日の様子

図書館のマスコットキャラクター・みみずくのみみちゃんと、その妹のニョロちゃんが描かれている40周年記念ぬりえを用意しました。時間をかけてゆっくり丁寧に塗るお子様や保護者の方とお話しながら楽しそうに塗るお子様、空いてるスペースに自分で絵を描くお子様もいて、皆様、思い思いに楽しんでいました。



終了時間30分前に土砂降りの雨になってしまったので、雨宿りにぬり絵をされていく方もいました。

●開催概要

開催日：11月5日(日) 10:00~16:00
 場所：1階ロビー 特設コーナー
 対象：幼児~小学生とその保護者
 参加者：39名

図書館なぞ解きイベント ひゃっか王からの挑戦状



●イベント概要と当日の様子

ポプラ社発行のこども向け百科事典『ポプラディア』を活用して謎解きをするイベントを開催しました。

挑戦する謎は、本で調べるものと、書架に設置したポスターを見て解くものがあり、正解すると記念品がもらえます。やや難しい問題もあったので、子供たちは保護者と一緒に考えながら「なぞ解き」に挑戦していました。

今回は低学年の参加者でも挑戦しやすいように、色や形を問う簡単な問題も用意しました。低

学年だけでなく、中・高学年の挑戦者にも好評で、通常の問題を解いた後に更にチャレンジする挑戦者もいました。



●開催概要

開催日：11月5日(日) 10:30~12:30 順次受付
 所要時間：一人あたり約30分
 場所：2階 視聴覚室(10:15開場)
 対象：小学校3~6年生(1~2年生は保護者同伴で参加可)
 参加者：子供31人・大人30人
 事前申込：不要
 参加費：無料



11/3
11/5

40周年としょかん感謝祭で共通で実施したイベント及び展示について報告します。また、期間中は分館、分室、配本所でもクイズイベントを開催しました。市役所のロビーでは「写真で振り返る図書館の歴史」の展示も実施しました。

文字探しラリー

●イベント概要と当日の様子

文字探しラリーの台紙に書かれたヒントをもとに、建物の中に隠された5つの文字を探し出し、見つけた文字を並び替えてできる言葉を当てるイベントです。

早ければ10分程度でできるイベントなので、皆様、ご家族揃って気軽に参加してくれました。中には3日間連続で参加してくれた子供もいて、急遽、3日目の文字を変更させていただきました。

正解者には台紙にスタンプを押印し、図書館キャラクターみみずくのみみちゃんの特製シールをプレゼントしました。皆様、「可愛い」と喜んでくれました。

●開催概要

開催日：11月3日(祝・金)～11月5日(日)
10:00～15:30

場所：1階 ロビー受付

対象：幼児～小学生とその保護者

参加者：3日-108人、4日-51人、5日-86人

事前申込：不要

参加費：無料



ロビーフォトスポット



●当日の様子

40周年としょかん感謝祭の開催中、ロビーにはフォトスポットが設置されていました。お子様連れの来館者には好評で、皆さん、来館の記念に写真撮影してくれました。

大人は意外と気づかないクラッカーの絵にも、ちゃんと手を添えてポーズをとってくれたお子様たち、流石です！



手話通訳



40周年としょかん感謝祭では、3日間、手話通訳者の皆様にご協力をいただき、各イベントで手話通訳をお願いいたしました。

また、玄関脇でも、必要な方がいらした場合は、直ぐに対応できるように受付付近で待機していただいていたいました。

飾り付けいろいろ



40周年としょかん感謝祭では、ロビーを中心に、折り紙やお花紙で手作りの飾り付けをして、お祭り気分を盛り上げました。

この日は、玄関脇のみみずくの石像も、花の首飾りで皆様をお出迎えしたところ、一緒に写真を撮っている人もちらほら。3日間限定のレアな光景に気づいていただき、ありがとうございました。



調べる学習コンクール作品展示

●イベント概要と当日の様子



「調べる学習コンクール」全国コンクール入賞作、及び戸田市コンクールの入賞作を展示しました。

●開催概要

開催日：11月1日（水）～11月30日（木）

9：00～18：00（平日は20：00まで）

場所：1階 閲覧室

新曽北小学校・児童の作品展示

●開催概要

40周年としょかん感謝祭にあわせて、戸田市立新曽北小学校の児童作品展示会を開催しました。絵画、工作ともに力作ばかりで、来場した方々も足を止めてじっくりとご覧になっていました。

●展示期間

10月1日（日）～11月12日（日）

※休館日は除く。

●展示場所

中央図書館1階ロビー



展示「写真で振り返る図書館の歴史」

●戸田市役所ロビーでの展示

展示期間：10月17日（火）～11月6日（月）

展示場所：市役所2階ロビー

内 容：図書館に残る記録写真の中から、思い出深い写真を選び、解説を付けて紹介しました。



●中央図書館での展示

展示期間：11月14日（火）～11月29日（水）

展示場所：戸田市立中央図書館1階ロビー

内 容：市役所で展示したものを、パネルのサイズにあわせて再編集して展示しました。図書館の正面玄関を入ると、目立つ位置に展示していたため、多くの来館者が足を止めてご覧になっていました。

●上戸田分館での展示

展示期間：12月1日（金）～12月28日（木）

展示場所：上戸田分館（上戸田地域交流センター2階）

内 容：上戸田分館の前身である上戸田分室の写真や、上戸田地域交流センターのオープニングイベントの写真も紹介していたため、ご覧になった方から「懐かしい写真だ」「ちょうどこの頃、ここで貸出券を作った」など声をかけていただきました。



分館・分室・配本所 40周年クイズイベント

●イベントの概要

「40周年としょかん感謝祭」開催中、分館、分室、配本所では図書館の歴史に関するクイズに答えて、40周年みみちゃん記念シールを貰おう！というイベントを開催していました。

●当日の様子

「クイズやってます」とお声かけすると、皆さん「やりたい！」と参加してくれました。まだ幼いお子さんも保護者と一緒に参加しており、低年齢でも楽しめるクイズでした。参加されたお子さんは皆さん嬉しそうにシールをもらっていたので、こちらも嬉しくなりました。【上戸田分館スタッフより】このクイズには、3日間で総計174名の方がチャレンジしてくれました。



上戸田分館



上戸田分館



下戸田分室



美笹分室



下戸田南分室



戸田公園
駅前配本所



2023年、40周年を迎えた図書館では、「40周年としょかん感謝祭」の開催だけでなく、中央図書館のロビーにおいて絵本の原画展・パネル展を開催しました。

■ 3月の展示

「いのちの木のあるところ」複製原画展（新藤悦子／作、佐竹美保／絵 福音館書店）



展示期間：3月1日（水）～3月26日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：「いのちの木のあるところ」は、多くの謎に包まれたトルコの世界遺産「ディヴリーの大モスクと治癒院」をめぐる壮大な歴史物語です。挿絵を手掛けた佐竹美保は、幅広いジャンルの挿絵で活躍され、他に『〈ハウルの動く城〉シリーズ』や『〈魔女の宅急便〉シリーズ』（3巻～8巻・福音館書店）などの挿絵も手がけています。

■ 4月の展示

『乙女の本棚』シリーズパネル展



開催期間：4月2日（日）～4月23日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：乙女の本棚シリーズは、芥川龍之介、太宰治、新美南吉などの名作と人気イラストレーターがコラボレーションをした作品で、小説としても、画集としても楽しめるシリーズです。今回は、以下の5作品のパネルを展示しました。

- ・「押絵と旅する男」江戸川乱歩／著
- ・「人間椅子」江戸川乱歩／著
- ・「瓶詰地獄」夢野久作／著
- ・「魔術師」谷崎潤一郎／著
- ・「桜の森の満開の下」坂口安吾／著

■ 5月の展示

「よみきかせ いきものしゃしんえほん」 パネル展示



開催期間：5月1日（月）～5月28日（日）開催

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：岩崎書店発行の「よみきかせ いきものしゃしんえほん」のパネル展を開催しました。このシリーズは、小さいいきものたちの誕生や成長を美しい写真で紹介したもので、細部まで鮮明に映し出された画像にはワクワクするような発見がいっぱいでした。

■ 6月の展示

「きたきつねとはるのいのち」原画展（手島圭三郎／絵・文 絵本塾出版）



開催期間：6月1日（木）～6月25日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：木版画家として活躍している手島圭三郎の作品「きたきつねとはるのいのち」の原画展を開催しました。力強いタッチで北の大地の厳しい冬景色を描いた木版画の作品は、原画で見ると一段と心に迫るものがあり、展示期間中の図書館のロビーはアートギャラリーと化していました。

■ 7月の展示

「あなたのすてきなところはね」パネル展（作 玉木永吉／絵 えがしらみちこ）



展示期間：7月3日（月）～7月23日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：サラリーマンをしながら音楽活動・作詞活動を経て絵本作家デビューした玉置永吉の作品「あなたのすてきなところはね」のパネル展を開催しました。絵は、自らも絵本を出版しているえがしらみちこが担当し、歌詞のように心地よい調べの文に、水彩画の優しいタッチでいろどりを添えています。心温まるパネル展でした。

■ 8月の展示

「とうふこぞう」パネル展（作 京極夏彦／絵 石黒亜矢子）



展示期間：8月1日（火）～8月27日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

展示内容：妖怪研究者でもある作家・京極夏彦の妖怪ナンセンス絵本「とうふこぞう」のパネル展を開催しました。小説版の挿絵も手がけた石黒亜矢子とのコンビで誕生したこの絵本、二人の世界感を十分に堪能できる展示となりました。

■ 9月の展示

「ふしぎなたまご」の原画展（作：たかしよいち／絵：岡山伸也）



展示期間：9月1日（金）～9月24日（日）

展示場所：中央図書館1階ロビー

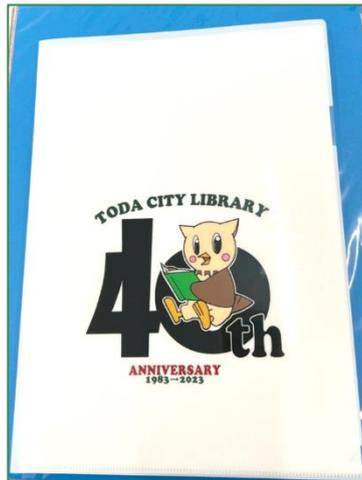
展示内容：冒険物語や考古学・古生物学関連の児童向け図書を数多く執筆し、日本児童文学者協会賞、国際アンデルセン賞優良作品賞、赤い鳥文学賞等の受賞歴がある作家・たかしよいちと、子供と動物のつながりや営みをテーマに作品を描くと評される画家・岡山伸也とで誕生した絵本「ふしぎなたまご」、その原画展を開催しました。パネル展と違い、原画の持つ勢いが直に伝わり、とても見応えのある展示となりました。

11/3
11/5

40周年としょかん感謝祭で配布した記念品を紹介します。クイズイベントなどで配布した図書館キャラクターのシールは、子供たちに「かわいい」と好評でした。

イベント配布物

- 40周年としょかん感謝祭の各イベント参加者に配布したクリアファイル



- 文字さがしラリー、40周年クイズイベントで配布した記念シール



図書館設立 40 周年記念イベントを終えて

令和 5 年度は戸田市立図書館が設立されて 40 年を迎える年にあたりました。

図書館を取り巻く環境、特に読書や情報検索などについては情報化社会の進展に伴い大きく様変わりし、40 年前を知る者からすれば現在の図書館の様子は実に隔世の感に堪えません。

そのような中でも多くの市民の皆様に来館、図書館を活用していただけているのは、歴代の館長をはじめとする多くの職員・スタッフの方々の熱心な努力と、図書館の活動を支えてきていただいたボランティアの皆様、関係者の皆様の御支援・御協力、そして何よりも皆様方の温かいお言葉や励ましと愛情ある叱咤激励の賜物と深く敬意を表するとともに感謝しています。

戸田市立図書館では、中央図書館を中心に令和 5 年 11 月 3 日、4 日、5 日の 3 日間、40 年の感謝を込めた記念イベントを開催し、多くの皆様に 40 周年をお祝いしていただきました。

また、当日は図書館の人気イベントに加え、今までやったことのない新しいイベントにもチャレンジすることができ、これまでのよき伝統を踏襲しつつ、これからの新しい時代に合った図書館になるための第一歩も踏み出せました。

今後も引き続き努力を重ね、第 2 次図書館ビジョンが目指す姿である「すべての市民の学びを支援し、情報拠点となる図書館」を目指していきますので、皆様には一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月

戸田市立中央図書館 館長 後藤 有功

この記念誌は、令和5年、戸田市立図書館のホームページで公開されていた「図書館40周年記念ページ」の内容を編集し、作成しました。

令和6年3月29日発行

戸田市立図書館開館40周年記念誌

編集 戸田市生涯学習課図書館担当

協力 戸田市立中央図書館
戸田市立図書館上戸田分館

発行 戸田市立図書館

〒335-0021
埼玉県戸田市大字新曾1707番地